

異常な行動が記録されている事例の追加調査結果

※：継続投与後に異常行動を含む精神神経系症状を発現した事例
*：継続投与後に異常な行動を含む精神神経系症状を発現しなかった事例

No	識別番号	年齢 数値	年齢 単位	性別	PT名称	タミフル 服用時刻		異常な行動発現時刻		就寝中か否 か (就寝中：○、 就寝中じゃない：×)	覚醒直 後に発現	就寝中の場 合、就寝時 刻から発現 までの時間	回復まで の時間	一眠りして 完全回復	体温	患者の記 憶	睡眠覚 醒等 の既往	睡眠覚 醒等 の家 族歴	光に対 する反 応	他剤による 「異常な行 動」の副作 用歴	異常な行動 に関する既往 歴	異常な行動 の具体的な詳細 (例：幻覚については具体的に何が見えたか？本人が幻覚を見たのか、 親が幻覚を見ていたかどうか？)	
						2002/2/2 2002/2/3 2002/2/4 2002/2/5 2002/2/6	夕 1日2回 1日2回 1日2回 1日1回	2002/2/2	夕服用後														
1	B02001634	1	年	男性	激越	2002/2/2 2002/2/3 2002/2/4 2002/2/5 2002/2/6	夕 1日2回 1日2回 1日2回 1日1回	2002/2/2	夕服用後	×	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	無	投与前2日入院。酸素サージン投与(投与前開始前日迄)。投与前開始日朝よりやや興奮の傾向があったとのことであった。夕方よりタミフル内服開始後、一日中声を出して騒ぐ状態があった。3日目 テオフィリンの影響を考慮し血中濃度を測定したが、6.96とむしろ低値。夜間には不眠とのことであった。5日目 タミフル中止。夜間は良眠。6日目 興奮回復。7日目 通常通りの機嫌となる。退院。一日中声を出して騒ぐ。
2	B05000689	1	年	女性	激越	2005/3/15 2005/3/16	1日2回 朝食後	2005/3/16	15:00	○	Yes	-	No	-	解熱過程	-	No	No	-	No	無	2005/3/15 夜、解熱するが夜間興奮状態で泣きわめく。2006/3/16(11:00)36.9℃午前中歩行ふらつき状態。昼食後午睡し目覚めてから泣く。異常な興奮状態で号泣し母親が「手がつけられなくなった」と訴え18:30に再来院。2005/3/17興奮状態少し落ち着く。歩行正常。(11:00)36.5℃(20:30)再び興奮状態、ツラツラ歩きとなり再びタイアップ坐剤使用を指示。	
3	B05022379	1	年	男性	①異常行動 ②低体温	2006/1/17 2006/1/18	18:00 9:00	2006/1/18	18:00	×	No	-	1時間程度	Yes	解熱過程	No	No	No	No	No	無	2006/01/17(夕)A型インフルエンザ治療のためタミフル20mg投与。2006/01/18(朝)本剤20mg投与。低体温(非重篤)34℃台 高く35.1℃。(昼)行動異常(急に走り出して変な姿勢で止まる)発熱を認める。(22:00頃)来院。入院にて経過観察。低体温。2006/01/19(7:00)低体温は回復。退院。(入院中、行動異常なし)行動異常は回復。インフルエンザ回復。	
4	B06025418	2	年	女性	①激越 ②異常行動	2007/3/6 2007/3/7	22:00 9:30	2007/3/6 2007/3/7	22:30 10:00	×	No	-	1-2時間	-	1度目は発熱持続 2度目は解熱過程	-	No	-	-	No	無	3/6(22:30)ベッド欄に頭をガングバンをつける。「窓を開ける」「点滴をはずせ」などの言葉を発して泣きわめく。約1~2時間でおさまり入眠。3/7(10:00)機嫌が悪くなり、頭をベッド欄にぶつけたり、部屋の窓をさして開けて欲しいとせがんだりする。	
5	B07010111	2	年	男性	異常行動	2007/4/24 2007/4/25 2007/4/25 2007/4/26 2007/4/26 2007/4/27 2007/4/27 2007/4/28	夕 朝 夕 夕 朝 夕 朝 夕 朝	2007/4/24	夕	○	Yes	-	-	-	-	-	-	-	-	-	無	2007/4/24 インフルエンザに対して、本剤75mg×2回/日処方。発症時に認められた自宅発見。発熱37.8℃。夕方より服用開始。異常行動発現(非重篤)。寝ていたはずなのに突然起き上がった。部屋を走り回った。けがはなかった。2007/4/27 インフルエンザ回復。2007/4/28 異常行動回復。本剤服用後、投与終了。	
6	B08019530	2	年	男性	異常行動	2007/3/24~ 3/25	1日2回	2007/3/25 2007/3/26 2007/3/27 2007/3/28	①昼間 ②夜間	×	No	-	-	-	解熱後	Yes	-	-	-	-	かんしゃく持 ち	2007/03/24 インフルエンザBと診断され、本剤を2回内服(2mg/kg×2回)。2007/03/25 本剤2回内服(2mg/kg×2回)し、解熱した。異常行動発現。泣きわめいて、走り回る、寝転がると、壁に頭を打ち付ける。気に入らないことがあると頭を壁に打ち付けたり、くずりが今までより激しくなった。2007/03/26 本剤投与中止。2007/03/27 日中は問題なかったが、真夜中にまたくずりが激しくなった。2007/03/28 午前中は気に入らない事があると頭を壁に打ち付けたり、くずりたりする。異常行動(夜泣きが多い、地面に頭を打ち付けるなど)が続くため、入院。意識清明で、神経学的その他の身体所見で異常所見は認められなかった。脳液では異常所見は認められなかった。2007/03/29 退院。頭部MRIでも、異常所見は認められなく、髄液検査は未施行。5日目の内に、異常行動は徐々に改善していき、ステロイドパルス療法など施行せず、経過、予後は良好であった。異常行動の転帰：軽快	
7	B03003860	3	年	女性	失見当識	2003/1/24	15:32	2003/1/24 2003/1/25	夜 13:45	×	-	-	-	-	発熱持続	-	-	No	No	-	無	2003/1/22インフルエンザ発症。体温(38.3℃)、咳、鼻水、下腹痛、倦怠感あり。(午後)体温(37.5~38.2℃) 2003/1/24(8:30)発熱(38.3℃) 咳、鼻水、軽い下腹痛を訴える。 2003/1/24(15:32)体温(38.7℃)と元気がなし。頭痛あり。インフルエンザAと診断し、タミフル60mg/日を投与。少しぼーっとした感じがあるが、返事あり。夜より、わなわな動きまわる。落ち着かず、キョロキョロするが呼んでも返事をせず、どこをみているのか焦点がさだまらない。ぼーっとしており全くしゃべれない。聞こえているのかもわからない状態になった。 2003/1/25(13:45)体温(36.9℃)と解熱するも上記症状がつかずよくなる。意識なし。顔色良好。呼吸正常。多動傾向あり。麻痺なし。神経反射異常なし。瞳孔左右同大。対光反射あり。呼びかけてもまだままだまです。キョロキョロする。周りに誰がいるかわからない。医師も母親もよくわからない状態であった。脳炎又は本剤副作用を考慮して他院へ紹介した。入院後の詳細は不明。EEG、MRI、髄液検査：異常なし。テオフィリン血中濃度がやや高値。 2003/1/27 言葉がでるようになった。	
8	B06001533	3	年	男性	意識レベルの低下	2006/3/30 2006/3/31 2006/4/1	夕 朝・夕 10:00	2006/4/1	11:00	-	No	-	5時間	No	解熱過程	-	-	-	-	-	無	(11:00頃)急に興奮し始め、奇声を発しながら何度も何度も自分の顔を打ちつけた。母親が押さえたが、16時間まで異様な興奮状態が続いた。(16:00)意識障害回復。その後、精神症状の方はおさまり再燃しなかった。	
9	B07013311	3	年	女性	異常行動	2007/2/20	11:00	2007/2/20	15:00	-	-	-	-	No	発熱持続	-	No	No	No	No	無	2007/02 インフルエンザA型の診断にて本剤処方。午前11時ごろ1回目の服用。1回目服用4時間後位に、急に階段を駆け上ったり、昼寝後(服用6時間後位)書架置いていない場所まで走っておもちゃを探しにいたりいつもはみられない行動あり。寝る前に本剤2回目の服用。KT38度台。 2007/02投与後2日目 前日同様、熱が高かったりしているのに突然動き出すなど、いつもと違う行動が見られた。午前中KT38度台。午後には体温低下。その後症状なし。本剤は5日間飲みきったが、その後は症状なし。アンヒパSs使用せず。	

異常な行動が記録されている事例の追加調査結果

※：継続投与後に異常行動を含む精神神経系症状を発現した事例
*：継続投与後に異常行動を含む精神神経症候を発現しなかった事例

No	識別番号	年齢 数値	年齢 単位	性別	PT名称	タミフル 服用時刻		異常な行動発現時刻		就寝中か否 か (就寝中：○、 就寝中じゃない、×)	覚醒直 後に発現	就寝中の場 合、就寝時 刻から発現 までの時間	回復まで の時間	一眠りして 完全回復	体温	患者の記 憶	睡眠覚醒 等の既往	睡眠覚 醒等の家 族歴	光に対 する反 応	他剤による 「異常な行 動」の副 作用	異常な行 動に 関する既往 歴	異常な行動 の 詳細 (例：幻覚については具体的に何が 見えたか？本人が幻覚を見たのか、 親が幻覚を見ていたかどうか？)	
						開始時刻	終了時刻	開始時刻	終了時刻														
10	B07013419	3	年	男性	異常行動	2007/3/16 2007/3/16 2007/3/17 2007/3/17 2007/3/18 2007/3/18 2007/3/19 2007/3/19	10:30 夕 12:00 夕	2007/3/16	13:00	—	—	—	10分	—	—	—	—	—	—	—	—	無	2007/3/16 (10:00)来院時は、39.6℃の発熱、若干の咳があった。A型インフルエンザに対し、本剤60mg/2を処方。(10:30)本剤30mg服用。(11:30)二階で昼寝。いつもの発熱時同様、少し四肢をビクビクとする。(13:00)昼食を用意して、母親が二階へ。その時二階の大きい窓を開けて上半身を乗り出すようにして。母親が注意すると素直に従う。表情正常。いつもは母親の言葉になかなか従わず、わがままのみ。返って不自然かなど母親は感じたとの事。(13:10)異常行動疑いは回復。 2007/3/17 (朝)発熱なく服用せず。(12:00)40℃のみ、朝の分の本剤30mg服用。(夜以降、発熱認めなかったが、その後も合計4日服用。
11	B07027596	3	年	男性	激越 幻覚	2008/02/07 2008/02/08	21:00 9:30	2008/02/07 2008/02/07	22:00 22:00	○	—	30分	10分	No	発熱持続中	—	No	Yes (元、発熱時に怖い夢を見る)	—	—	No	No	2008/02/07 (10:00)インフルエンザA型と診断。(21:00)A型インフルエンザに別して、タミフル25mg内服。(22:00)発熱感あり。寝たかと思うとわっとなんか「何かがある」と言う。テレビを指差して「あーあー」「まーまー」と訳のわからないことを言いがくぐくふる。10分ほどおさまって入眠。(23:00)頭ふとんに入っていたのが起きて走り出す。10分程でおさまる。 2008/02/08 (3:00)頭また騒ぐ。(9:00)起きてすぐまた「わーっ」と騒ぐ。体温36.6℃。朝食はふだんの半分くらい食べた。(9:30)本剤12.5mg内服(昏睡のため半分やめた)。 2008/01/16 (1:00)突然起き上がり机の上へあがる。その後椅子に登ろうとした。その後短時間(5分程)戻り「ボーン」とた感じであった。夜間せん妄(非重篤)発現。その後寝ていた。 (11:10)夜間せん妄回復。
12	B08001381	3	年	男性	譫妄	2008/1/15	22:00	2008/1/16	1:00	○	Yes	—	5分	Yes	発熱持続	No	No	No	—	—	No	無	(1:00)突然起き上がり机の上へあがる。その後椅子に登ろうとした。その後短時間(5分程)戻り「ボーン」とた感じであった。夜間せん妄(非重篤)発現。その後寝ていた。 (11:10)夜間せん妄回復。
13	B02001480	4	年	男性	①妄想 ②幻覚	2002/2/5 2002/2/6	夜 朝	2002/2/5 2002/2/6	服用1時間後 服用2時間後	×	—	—	—	—	—	Yes	—	—	—	—	—	不明	投与開始当日 体温:39.3℃。1カプセル投与1時間後(夜間)に妄想、幻覚が出現。その後、妄想、幻覚は、おさまった。 投与開始翌日 朝、1カプセル服用2時間後に幻覚、妄想が出現。来院後、タミフル投与中止。(本人が包丁を持ち出した。その事を聞いてみると、持ち出したことは覚えていたとのこと)。
14	B05000876	4	年	男性	①意識レベルの低下 ②異常行動 ③尿失禁	2005/3/11 3/12~3/13	夕 朝・夕	2005/3/13	12:00	×	No	—	13日5分 14日10~15分	No	発熱持続	No	No	No	No	—	No	無	意識がもうろう状態で、意味不明の発語をしながら火がついたように泣き、母親に抱きつく。母の膝の上で尿失禁をする。夜、睡眠中突然起き上がり叫ぶ。壁をカンカン叩く等の興奮状態となり、母親が声をかけなだめでも定かなく。10分から15分くらいすると自然に再入眠をする。このような行動を1時間毎に4~5回繰り返した。
15	B06024911	4	年	男性	①激越 ②異常行動	2007/2/26	夕方	2007/2/26	17:00頃	—	No 眼中にむく くり起きた	—	30分×数回 (くり返し)	No くり返した	解熱過程	No	No	No	—	—	No	無	興奮状態が30~40分。その後大声で奇声を発し、怪えたように走りまわる。大人二人でかろうじて押さえる。単なる興奮というよりも、抑制しきれないような激しい様子。事故につながりかねない様子。つじつまはあっているがしゃべりまくっていた。
16	B07000057	4	年	男性	異常行動	2007/2/28	不明	2007/2/28	服用30分後	—	No	—	—	No	発熱持続	—	No	No	—	—	No	不明	母親が姉を保育園に送っている間目を離した間に、道路を全速力で走っており、家につけて帰った後は、ベンダの欄を越えようとしていた。
17	B07000106	4	年	男性	激越	2007/3/18	19:00	2007/3/18	20:00	—	—	—	1回目は数分 で回復 2回目は1時 間以内に回 復	2回目の異 常興奮以降 は完全に回 復	発熱持続	—	No	No	No	No	有(不明)	2007/3/17 37℃台の発熱あり。 2007/3/18 午前中から39~40℃台の発熱があり、休日診療所を受診した。インフルエンザA型と診断。タミフル、ムコダインが処方された。自己発熱39℃~40℃台、咳、鼻症状(鼻水、鼻づまり、くしゃみ)。(19:00)本剤、ムコダインを服用した。(20:00)大声をあげて、一点を凝視した。その後、ぼーっとして入眠した。(23:30)大声をあげて、押さえつけていないと動き出すような様子で、救急車で当院救急外来に搬送された。来院時、意識は清明で興奮状態になかった。本剤は中止とし、観察目的で入院した。以後、輸液のみで観察したが、異常行動、けいれん、異常発音などはなかった。 2007/3/22 退院。	
18	B07000286	4	年	男性	①譫妄 ②異常行動 ③筋骨格硬直	2007/3/10 2007/3/10 2007/3/11 2007/3/11	8:00 18:00 8:00 18:00	2007/3/10 2007/3/10 2007/3/11 2007/3/11	8:00~14:00 18:00~23:00 8:00~14:00 18:00~23:00	×	No	—	5~6時間	Yes	発熱持続 解熱過程	—	No	No	No	No	No	無	2007/3/10 (8:00)インフルエンザA型に別して、タミフル66mg×2回/日投与開始。コケッコウと言ったわごと(非重篤)を言っており、表情もこわばり(非重篤)、走り出すため、親が抱きかかっていた。(14:00)本剤服用後6~7時間後に症状消失。(18:00)本剤投与、症状出現。(23:00)症状消失。 2007/03/11 (8:00)本剤投与。症状出現。(14:00)症状消失。(18:00)本剤投与。症状出現。(23:00)症状消失。3/10~11で計4回本剤投与一症状発現を繰り返した。 2007/03/13朝本剤内服後、投与中止。症状全て回復。
19	B07004784	4	年	女性	異常行動	2007/3/15 2007/3/15	12:00 20:00	2007/3/15	20:00	○	Yes	—	1分	Yes	発熱持続	—	No	—	—	—	—	熱性痙攣	睡眠随伴症を思わせる既往なし。 不明 今季、予防接種2回施行。 2007/3/14 (4:00)発熱。(午前)当院初診。インフルエンザウイルス抗原迅速検査(鼻をかんだ鼻汁検体)を行ったが陰性であった。トミロン細粒180mg分3、ムコダイン細粒450mg分3、カロナール細粒150mg頓用を投与した。 2007/3/15 (午前)解熱せず再来た。鼻咽喉嚥下液を用いて検査を行った所、インフルエンザと診断。(12:00)本剤30mg/回投与。(20:00)本剤30mg/回投与。異常行動発現。寝ている途中で突然起き上がり、同じ部屋のTVの方へ歩いていった。眼は開けていたがうつろであった。自動的か、そこへ立っていったが、意味は不明であった。会話は成立しなかった。1分位で横になって静かに眠りに就いた。 2007/3/16 (朝)覚醒し、以降異常は認められなかった。異常行動軽快。本剤は以降服用しなかった。 2007/3/17 (朝)解熱した。
20	B07018038	4	年	男性	異常行動	2005/03/14 2007/03/03 2007/03/03	不明 13:10 23:50	2005/03 2007/03/04	3:00	○	Yes	—	10~15分	Yes	解熱過程	No	No	No	—	—	No	No	2005/03/14(17:00)体温39℃。(18:00)当院受診し、本剤処方。 2005/03/15 夕方には解熱。この間、大声で叫ぶという異常行動を起こす(出現時間不明)。 2007/03/02 (17:00)体温 38.7℃。 2007/03/03 (13:10)体温 40.1℃。本剤1回目服用。(23:50)体温 40.0℃。本剤2回目服用。 2007/03/04(3:00) 体温 37.9℃。目を開いたまま、立ったり、すわったり、走ったりが10~15分続く。就寝中、突然起き上がり「おぼけが見える」と叫ぶ。目を見開いた状態で焦点合わず。母親を認識できず恐怖の形相で走り出す。2階の上にとりかかっていた

異常な行動が記録されている事例の追加調査結果

※：継続投与後に異常行動を含む精神神経系症状を発現した事例
*：継続投与後に異常行動を含む精神神経症候を発現しなかった事例

No	識別番号	年齢 数値	年齢 単位	性別	PT名称	タミフル 服用時刻		異常な行動発現時刻		就寝中か か (就寝中：○、 就寝中じゃない、×)	覚醒直 後に発現	就寝中の場 合、就寝時 刻から発現 までの時間	回復まで の時間	一眠りして 完全回復	体温	患者の記性	睡眠覚醒症 等の既往	睡眠覚醒 症等の家 族歴	光に対する 反応	他剤による 「異常な行 動」の副作 用歴	異常な行動 に関する既往 歴	異常な行動の 具体的な詳細 (例：幻覚については具体的に何が見えたか？本人が幻覚を見たのか、 親が幻覚を見ていたかどうかと言っているのか？)	
21	B07025219	4	年	女性	低体温 異常行動	-	-	2008/1/31 2008/1/29	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2008/01/29AM 本剤3日分処方。 2008/01/30夜 体温38°C。 2008/01/31朝 体温34.2°Cに低下。低体温発現。 不明 夜間にうろついていた。異常行動発現。 不明 低体温、異常行動 軽快。	
22	B08001240	4	年	男性	①幻覚 ②異常行動	2008/1/19~ 2008/1/21	-	2008/1/21	朝	×	No	-	-	-	解熱後	-	-	-	-	-	-	2008/01/21 (朝)本剤内服30分後、「物が2つに見える」、「キヤーキヤー大きな声をあげて走り回 る」。幻覚、異常行動発現。体温36.7°C。 不明 幻覚、異常行動 回復。	
23	B08002520	4	年	男性	異常行動	2008/2/10 2008/2/11 2008/2/12	PM AM/PM AM/PM	2008/2/12 2008/2/13	①23:30 ②2:00	○	Yes	2時間30分	-	①No ②Yes	①解熱過 程 ②解熱後	No	No	No	No	No	-	2008/02/12 21:00就寝。 (23:30)目覚めて、ギョアギョア、「イヤダイヤダ」と叫び、どうしようもない様に人を 蹴る。泣き寝れて眠る。異常行動(非重篤)発現。 2008/02/13 (2:00)再び急に起き上がった。窓の台に上る。異常行動(非重篤)発現。 本剤投与中止。 以後同様の行動なし。異常行動 回復と判断。	
24	B08028418	4	年	女性	異常行動	2009/1/24	-	2009/1/24	12:00 時刻不明	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2009/01/24 当院受診。インフルエンザAと診断。本剤51mg×2回/日投与。 (12:00)異常行動(突然走り出す、おひえる、わめく、手を振り回す等無意味な動作、寝られ ない(寝れない)) (医師重篤度：非重篤)発現。突然走りまわり、おひえたり、わめ いたりした。手をふりまわす様な意味のない行動をくり返した。 (時刻不明) 異常行動(突然走り出す、おひえる、わめく、手を振り回す等無意味な動作、寝られ ない(寝れない))の転帰：回復	
25	B08031694	4	年	男性	異常行動	2009/2/28	午前	2009/2/28	14:00	○	-	-	-	Yes	発熱持続	-	-	-	-	-	No	-	2009/02/28 A型インフルエンザ治療のため本剤36mg投与。服用後寝込む。 (14:00)異常行動(医師重篤度：非重篤)発現。午後起床し、椅子に座り、水を飲んだり 、父親と話した後、突然室内を走り回る。父の問いかけに寝に戻る。その時点38°C。 その後は37°C台維持し軽微な症状残る。 異常行動の転帰：回復
26	B04008530	5	年	男性	譫妄	2004/2/6 2004/2/6 2004/2/7 2004/2/7 2004/2/8 2004/2/8 2004/2/8 2004/2/9	10:20 18:15 10:45 18:35 10:30 20:00 7:45	2004/2/6~ 2004/2/7	夜~ 明け方	-	-	-	24hr以内	Yes	発熱持続	-	No	No	No	No	No	無	2004/02/05 夕方、インフルエンザ発症。 2004/02/06 38.9°Cの高熱を主訴として来院。インフルエンザ抗原抗体にてA型と判 明。(AM10:20)タミフル内服。(PM6:15)本剤内服。体温：40.2。夜~7日明け方にかけて 40°Cの高熱が続く。 2004/02/07 明け方、鬼が出たと言って、興奮して家の中を走り回っていた。いわば譫 妄状態に陥った。(AM10:45)本剤内服 (PM6:35)本剤内服 体温：37.0、同日、譫妄回 復。 2004/02/08 (AM10:30)本剤内服 体温：36.7 (PM8:00)本剤内服 体温：36.2 2004/02/09 (AM7:45)本剤内服。体温：36.0°C
27	B05024964	5	年	女性	譫妄	2006/02/06	夕	2006/02/06	20:00~翌4:00	○	Yes	1	No	Yes	発熱持続	No	No	No	-	No	無	突然起き上がった。目をしっかりと開けている。しかし目つきはおかしい。そして母の服に 変な小さな黒い虫がついているとか、シールがついているからとそれを剥がそうとし り、毛布をアイスと言って口にくわえたり、そばに友達がいると思ったらタタとか何々を 責めてなどと言いつけたりする。夢遊病の様になって歩いたりもした。ほとんど眠らずに このような症状が続いた。	
28	B05025585	5	年	男性	譫妄	2006/2/21	昼、19:00	2006/2/21	14:00 16:00	-	-	-	数~30分	-	-	-	-	-	-	-	高熱時、奇声 を上げることが あった。	2005/3 本剤服用し、異常行動(重篤度不明)発現。 2006/2/19 (朝)患児の母、発熱。 2006/2/20 患児の母、インフルエンザA型と診断。 2006/2/21 発熱。当科受診。インフルエンザA型と診断。本剤内服開始した。(昼)本剤 60mg服用。(14:00頃)30分ほど混迷状態(奇声、走り回る、ないものがあると云う)となっ た。(16:00頃)数分同様の状態となった。(19:00頃)本剤2回目60mg服用。(21:00過ぎ)30 分ほど混迷状態となり、救急受診、入院した。 2006/2/22 解熱。 2006/2/24 点滴中止。 2006/2/25 増悪なく退院。	
29	B06025200	5	年	女性	異常行動	2007/2/20	19:00	2007/2/20	20:00	×	-	-	6時間	Yes	発熱持続	No	No	-	-	No	不明	2007/2/20 インフルエンザA型と診断。タミフル69mg×2回/日処方。(朝)本剤内服したが嘔吐。 この時期は発熱にかかわらず、特に異常行動を認めなかった。(19:00)タミフル 内服。体温39°C。朝は嘔吐してしまったので、実際には夜だけ服用。内服後寝かすつ けたが、うろたしている状態が続いていた。(20:00)服用後1時間くらいから異常 行動発現。症状としては夜から朝まで明けのわかない行動が続く。一晩中寝られな かった。タミフルを服用させ、寝かせようとしたが、うつろうつろしている状態でふんを 投げ出した。異常行動が出現した。 2007/2/21 (3:00~5:00)明け方より熟睡。おそらく熱は下がっていたと思われるが不明。 異常行動回復。 2007/2/26 インフルエンザ、軽快・回復	
30	B06025337	5	年	女性	異常行動	2007/2/5	16:30	2007/2/5	22:00	○	Yes	1.5時間	約2時間	Yes	発熱持続	No	No	No	-	No	不明	2007/2/5 (17:00)インフルエンザに別して、タミフル内服。(20:30)就寝。(22:00)異常行 動発現。急に起き上がり、嘔吐し、トイレへ駆け込んだ。その後、復座。自分の次も を必要以上にさすっていた。心配になった両親が救急車を呼び、搬送。 2007/2/6(0:00)就寝。(~4:00) 5:00)就寝。(~8:00)熱も下がり、退院。異常行動回復。	

異常な行動が記録されている事例の追加調査結果

※：継続投与後に異常行動を含む精神神経系症状を発現した事例
 *：継続投与後に異常な行動を含む精神神経症候を発現しなかった事例

No	識別番号	年齢 数値	年齢 単位	性別	PT名称	タミフル 服用時刻	異常な行動発現時刻	就寝中か否 か (就寝中：○、 就寝中じゃない、×)	覚醒直 後に発現	就寝中の場 合、就寝時 刻から発現 までの時間	回復まで の時間	一眠りして 完全回復	体温	患者の記性	睡眠覚醒症 等の既往	睡眠覚醒症 等の家族 歴	光に対する 反応	他剤による 「異常な行 動」の副作 用歴	異常な行動 に関する既往 歴	異常な行動の 具体的な詳細 (例：幻覚については具体的に何が見えたか？本人が幻覚を見たのか、 親が幻覚を見ていたかどうかと言っているのか？)	
31	B07000128	5	年	女性	①異常行動 ②意識レベルの低下	2007/3/19 14:00	2007/3/19 20:00 2007/3/20 12:00	×	No	—	1分以内	Yes	事象1は一 事象2は解 熱後	No	No	No	No	No	無	2007/3/19 (午前)39.6℃の発熱あり受診。インフルエンザA型と診断。(14:00頃)本剤1 回分33mg服用。 (20:00頃)急にけいこで転倒した。眼球上転あり、意識はすぐに回復するも、その間 の記憶は無かった。 その後本剤服用せず。 2007/3/20 (12:00頃)トイレに歩き出した後、眼前暗黒となり倒れかかり、母親が支えら れた。意識消失は無かった様だと、またこの時発熱は無かったと。	
32	B07003175	5	年	男性	①痙攣 ②異常行動	2007/2/24 2007/2/24 10:00 夕 2007/2/25 2007/2/25 2007/2/26 2007/2/26 2007/2/27 2007/2/27	2007/2/24 19:30	○	Yes	—	Yes	No	—	—	No	No	Yes	No	無	2007/02/24(午前)39.8℃で来院。インフルエンザA型と診断。(10:00)本剤内服後就寝。 (夕)本剤内服。(19:30)布団から急に立ち上がりカニのように歩き回る。カーテンを開け て外を見、痙攣し倒れた。 2007/02/25 病院に一時入院。朝中も本剤内服継続。 2007/02/26 退院。(午前)37.1℃。朝、本剤内服。(昼過ぎ)37.8℃。「空を飛んで死にた い」と言った。(夜)本剤内服。 2007/02/27(昼過ぎ)再び「死にたい」と発言。37.0℃。 2007/02/28 本剤1日分残っていたが、投与中止。インフルエンザ、異常行動ともに回 復。	
33	B07013260	5	年	女性	異常行動	2007/3/12 2007/3/12 2007/3/13 2007/3/13 2007/3/14 2007/3/14 2007/3/15 2007/3/15 2007/3/16 2007/3/16	2007/3/13 —	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	無	2007/3/12 本剤投与開始。 2007/3/13 本剤投与2日目に、異常行動(走りまわって壁にぶつか。表情がおかし い)が発現。 2007/3/16 本剤の投与を中止。	
34	B07022413	5	年	女性	痙攣 幻覚 異常行動 幻聴 譫妄	2007/12/30 夕 2007/12/31 朝 2008/1/1 朝 2008/1/1 朝 2008/1/2 夕 2008/1/2 朝 2008/1/3 夕 2008/1/3 朝 2008/1/4 朝	2007/12/31 4:00 2007/12/31 4:00 2007/12/31 4:00 2007/12/31 4:00	○	—	—	—	—	発熱持続中	—	No	No	No	No	No	2007/12/31(4:00) 入眠していたが急に起き上がり、走り回る。友達の名前を呼ぶ。母の背中に虫が見え ると言い始めた。母の背中によじのぼったり、友人の声を聞こえると言った。 母に抱かれてガクガク痙攣発作(?)を繰り返す。母は認識可能。 救急車で病院を受診。受診時、異常行動消失、意識清明。 本剤継続して、1/1より発熱。	
35	B07025220	5	年	男性	異常行動	2007/11/13	2007/11/13	×	—	—	—	No	—	—	—	—	—	—	No	2007/11/13 診察時 体温:38.3℃。(夕食後)インフルエンザA型に対して、本剤96mg 内服。体温:37.8℃ 一度眠った後、目を覚まし、何かにおびえるように「いやだいやだ」と叫び、洗面台によ じ登ろうとする。蛇口をじっと見つめ指で押さえる。こうした行動を繰り返した。異常 行動(非重篤)発現。 2007/11/14 (朝)起床時やや興奮した様子。	
36	B07025660	5	年	女性	熱性譫妄	2008/1/28 午後	2008/1/28 服用1時間後 程度	×	—	—	1分	Yes	発熱持続中	No	No	Yes 詳細不明	—	—	No	2008/01/27 (夜)発熱40℃あり。 2008/01/28 受診し、インフルエンザ検査でA型陽性。本剤46mg×2回/日処方。同時 に処方したSleep Aidは陽性。午後より内服開始。熱せん妄発現(非重篤)。服用後1時間 ぐらいたると痙攣が含みず、1分間隔でためがあるが、くぐるごと同じ所をまわる様に走る 動作をした。熱せんもう(非重篤)発現。 (夜間)鼻出血出現。 2008/01/29 熱せんもう回復。解熱後の同事象の再現性はなし。けいれん歴なし。 2008/02/02 本剤午後内服後終了。	
37	B0013386	6	年	不明	激越	—	—	○	Yes	—	—	—	—	—	—	—	—	—	不明	(母親からの連絡)服用した夜、就寝中に暴れた。患者は薬を飲むのが大嫌いで、以 前、他剤でも夜間に暴れたことがあったとのこと。	
38	B05021887	6	年	男性	①幻覚 ②激越	2006/1/8 2006/1/9 2006/1/10 2006/1/11 2006/1/12	朝・夕 10:00-夕 朝・夕 朝・夕	2006/1/9 15:50	×	—	—	30分	Yes	発熱持続	No	No	No	No	No	無	(15:50)幻覚、興奮状態発現。急に意識もうろろとし、「部屋の隅に黒い服を着た人がい る」などと、おびえたように話し、あばれた。(16:06)救急車で来院。来院時は不穏が 強かったが、すぐおとなしくなり、採血等もスムーズに行えた。
39	B05023789	6	年	女性	①幻覚 ②異常行動	2006/01/24 2006/01/25	夕 朝	①2006/01/24 23:00—24: 00 ②2006/01/24 —	—	—	—	Yes	Yes	発熱持続	—	No	No	—	No	2006/1/24 (19:00頃)高熱の為受診し、タミフル、シロップ剤、アンヒバ坐剤処方あり。 帰宅後食事し、タミフル(33mg/日)、シロップ剤服用。(20:00)就寝。(23~24:00)服用数時 間後に痙攣して寝かしている部屋から「布団が飛んでいる」と走って出てくる。母親が なぐり、寝眠する。幻覚症状発現。(夜)朝はいかい発現。 2006/01/25 (午前)朝食後タミフル(33mg/日)、シロップ剤服用させるが直後に嘔吐。 熱39~40℃あり。本日は幻覚症状無し。(19:30)母親より幻覚症状についての電話が薬 局にあり、本剤の副作用がインフルエンザによるものかどちらの可能性もある為、主治 医へ詳しい幻覚症状について伝え、今後の対処方法を問(様)に伝える。(19:40)主治 医へ電話し、本剤の副作用の可能性あるため服用中止の指示。また坐薬未使用のた め、使用するよう指示あり。 2006/1/26 (9:00)薬局より母親へ様子確認の電話。坐薬使用後熱、口数も増えてき たとのこと。今後も注意して様子見るように伝える。幻覚ない旨確認する。(10:00)受診 し、フロモックス小児用細粒、シロップ剤処方あり。 2006/1/27 母親が薬局様子確認する。熱はなく普段通りに会話するものの「誰かが いる」と幻覚症状があるとのこと。インフルエンザ脳症の危険性を話し、受診を勧める。 2006/1/30 幻覚症状回復。(不明)はいかい回復。 2006/1/31 薬局より様子確認の電話を入れる。1/30より元気に通学し、幻覚等無い 事を確認する。	

異常な行動が記録されている事例の追加調査結果

※：継続投与後に異常行動を含む精神神経系症状を発現した事例
*：継続投与後に異常な行動を含む精神神経症候を発現しなかった事例

No	識別番号	年齢 数値	年齢 単位	性別	PT名称	タミフル 服用時刻	異常な行動発現時刻	就寝中か 否 (就寝中：○、 就寝中じゃない、×)	覚醒直 後に発現	就寝中の場 合、就寝時 刻から発現 までの時間	回復まで の時間	一眠りして 完全回復	体温	患者の記 憶	睡眠覚醒 等の既往	睡眠覚 醒等の 家族歴	光に 対する 反応	他剤に よる 異常な 行動の 副作用	異常な 行動 に 関 する 既 往 歴	異常な行動の 具体的な詳細 (例：幻覚については具体的に何が見えたか？本人が幻覚を見たのか、 親が幻覚を見ていたかどうか？)	
40	B0600186	6	年	男性	異常行動	2006/3/8 19:30	2006/3/8 23:20	○	Yes	①未記載 ②— ③—	3~4分	Yes	解熱過程	No	—	—	No	No	無	2006/1 インフルエンザA型発症。他院にてタミフル5日間内服。不明「バーンバーンと音がする」という幻聴(3~4分/回)が服用中(5日間)続いた。(非重篤) 2006/3/8 (12:00)発熱を認め近医受診し、インフルエンザBがうつらと出ていたため、本剤、抗生剤を併用で処方を受ける。(19:30)タミフル、抗生剤を内服(投与量不明)。(20:00)嘔吐1回(タミフルの副作用とは考えない)。(21:30)39℃台の高熱を認めアセトアミノフェン(坐薬200mg)を使用。(23:20)突然起き、「眠ってる」「来ないで」「」こに入らなあんねん」と言い、母親の足跡の間に自分の手指を入れたり、制止がきかない程暴れたり(3~4分続き、その後、普通通りに戻った。近医に電話され、当科紹介となった)。(37.6℃)異常行動発現。(23:40)当科受診。意識清明、見当識障害なし。入院となった。 2006/3/9 (0:50)脳波検査を施行(異常なし)。インフルエンザ迅速診断テスト実施し陰性。(7:10)39.2℃。入眠中突然起き、「大きなボウモクが起きて起きてと言う」、「ボウモクをそこ脱衣におる」その後は異常行動なし。(19:00)インフルエンザ再検し陰性確認(サンプル:鼻咽頭)。その後解熱し、脳波再検にて異常なし。 2006/3/10 (9:45)退院。	
41	B06006859	6	年	女性	①譫妄 ②異常行動	2005/12/19 2005/12/20 2005/12/21	2005/12/19 ①2005/12/20 ②2005/12/21	×	No	—	2hr	Yes	発熱持続/ 解熱過程	No	No	No	No	No	無	①1~2時間して顔真っ赤にして嘔吐したり、落ち着きなく動き回るようになった。 ②ドアに向かって「お父さん」と、いない父に対して話しかけたり、真暗な階段を昇っていくことしたりするようになった。周囲の状況がわからない様子だった。	
42	B06025518	6	年	女性	意識レベルの低下	2007/2/27	昼食後	○	Yes	—	約3時間、約 2時間、約45 分	Yes	発熱持続	No	No	—	No	No	無	2007/2/27 (10:19)朝3時からの高熱、倦怠感、関節痛等を主訴に外来受診。インフルエンザ迅速法ではA・Bともに陰性だが、母親の希望もありタミフル等を処方後帰宅。(昼食後)タミフル45mg×1回内服し自宅でソファで就寝。(15:00)併用薬も多いがタミフル内服3~4時間後、意識障害発現。父がソファからベッドへ移動する際に促し移動する時、最初の椅子を話していたが、その後ベッドへ入眠。(17:00)ベッドに起きた様だが、再び椅子を言し、一人で壁外へ出ようとした。意識障害持続。父親が対処するも父親のことも解らない状況になり、自家用車で当院受診。(17:49)当院救急外来受診。JCSでレベル10の意識障害あり。インフルエンザ脳症を疑い、採血や髄液検査時にも意味不明の発声あり。頸部硬直不明瞭だが、髄液検査や頭部CTスキニングは異常なし。インフルエンザ迅速法で再検したが陰性(後日ウイルス抗体価HII法でペア血清でチェックしたが、抗体価変動なし)。そのまま入院しTPN静注とフェニトール投与した。検査中も意識障害のみならず、時々時間にもつかつかと覚める事もあった。(20:45)病とう上がった。意識障害は継続していた。その後就寝。(21:30)トイレに起きたが意識障害のため間に合わず、おもらしをした。その後就寝。(23:00)再びトイレに起き、この時は意識がはっきりしていた。その後就寝。 2007/2/28 (朝)起床。(8:20)意識レベルは回復。熱も36.8℃まで解熱した。 2007/3/2 (13:00)後遺症はなく軽快。退院。	
43	B07000279	6	年	男性	異常行動	2007/3/17 2007/3/17	18:00 不明	○	Yes	—	5時間	Yes	発熱持続	No	No	No	No	No	無	2007/3/17 (18:00)A型インフルエンザのためタミフル40.5mgを投与開始。(18:30~23:30)内服後興奮状態となり、室内ソファを飛び越え、対面にあるドアに激突し、顔面を打撃す。異常行動発現。 2007/3/20 異常行動回復。インフルエンザ軽快。	
44	B07012137	6	年	男性	異常行動	2006/5/24 2006/5/25 2006/5/25 2006/5/26 2006/5/26 2006/5/27 2006/5/27 2006/5/28 2006/5/28 2006/5/29	夕	×	—	—	—	Yes	解熱過程	No	No	—	No	No	無	2006/05/23 38.6℃の発熱。 2006/05/24 B型インフルエンザに対して、本剤20mg×2回/日処方。夕方より服用開始。 2006/05/25 (昼頃~)異常行動発現(非重篤)。2階より転落、「助けて」という声に母親が見つけ、外傷は特になし。その後、意識清明。 2006/05/29 内服を続けたが異常はみられず、朝、本剤服用後投与終了。 2006/05末 インフルエンザ軽快。回復。	
45	B07013250	6	年	男性	異常行動	2007/2/8	2007/2/8	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	無	2007/2/8 B型インフルエンザに対して、本剤の投与を開始。1度目の服用後しばらくしてから大声を出し玄関に向かって走っていったところ母親に制止された。 不明 異常行動は回復。	
46	B07013332	6	年	女性	異常行動	2007/3/21 2007/3/21 2007/3/22 2007/3/22 2007/3/23	9:00 19:00 8:00 19:00 8:00	①2007/3/21 ②2007/3/22	①○ ②×	—	—	—	Yes	解熱過程	No	No	No	No	No	無	2007/3/21 (9:00)A型インフルエンザ治療のため、本剤45mg×1回の投与開始。体温39.0℃。(19:00)本剤45mg×1/回投与。(20:00)体温38℃。就寝。(23:00~23:05)異常行動。精神障害発現(非重篤)。就寝中、突然大声を出し、足をバタバタと動かし、暴れた。母親が、体をさすりながら声をかけると5分後におさまる。しかし、本人は目をさまさず、そのまま睡眠に入った。 2007/03/22 (7:00)発熱37.5℃。目覚めは正常であったが、昨夜の事は全く記憶にない。(8:00)本剤45mg×1/回投与。 (12:30~12:40)異常行動、精神障害発現(非重篤)。昼寝に入る前に、昨夜のように大声(意味不明な言葉)をだし、手足を急に動かし、暴れる。声をかけてなだめると昼寝に入る。(19:00)本剤45mg×1/回投与。その夜は副作用はなかった。 2007/03/23 (8:00)本剤45mg×1/回投与し、体温35.0℃となり、相談(医師と患者さんの母として、本剤服用を中止する。インフルエンザの転帰。軽快/回復
47	B07013397	6	年	男性	譫妄 異常行動	2007/4/22	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	無	2007/4/22 (昼)来院。インフルエンザに対して、本剤の投与を開始。帰宅して服用。服用後まもなく、うわごとを言う、走り回るといった異常行動が発現。その後、本剤の投与を中止。うわごとを言う、走り回るといった異常行動は回復。	

異常な行動が記録されている事例の追加調査結果

※：継続投与後に異常行動を含む精神神経系症状を発現した事例
*：継続投与後に異常行動を含む精神神経症候を発現しなかった事例

No	識別番号	年齢 数値	年齢 単位	性別	PT名称	タミフル 服用時刻	異常な行動発現時刻	就寝中か否 か (就寝中：○、 就寝中じやな い：×)	覚醒直 後に発現	就寝中の場 合、就寝時 刻から発現 までの時間	回復までの 時間	一眠りして 完全回復	体温	患者の記 憶	睡眠覚醒 等の既往	睡眠覚醒 等の家 族歴	光に 対する 反応	他剤による 「異常な行 動」の副 作用 歴	異常な行動 に関する既往 歴	異常な行動の 具体的な詳細 (例：幻覚については具体的に何が 発覚したか？本人が幻覚を見たのか、 親が幻覚を見ていたかと言っているのか？)	
48	B07013398	6	年	男性	異常行動	2007/3/3 2007/3/3	14:00 21:00	2007/3/3 2007/3/4	15:00 0:00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2007/2下旬 湿性の咳出現。 2007 発熱する2〜3日前、夜寝ているときに不随意運動があった。(ピクピク) 2007/3/1 発熱する前日の夜、おびえたように、大声で「ママ、ママ」と探した。 2007/3/2 (夕方)かなりぐったりした様子が見られ、その後38℃の発熱あり。この頃か ら、いつもの熱の出方ではないような、少しもうろうとしているような様子があった。 2007/3/3 (朝)38℃の発熱あり。(13:00頃)当院受診時、39.9℃に上昇。インフルエンザ A型の診断がつき、本剤処方。 この頃より、すぐぐっすり寝ている様子あり、声をかけても、なかなか返事をせず、 目を開けない様子があった。(14:00頃)帰宅後すぐに本剤服用。(15:00頃)異常行動発 現(非重篤)。突然、服用した薬や、アケリアスなどを全て嘔吐。この間も、ずっと傾眠 しているようで、妄想のような意味不明の言動も見られた。嘔吐後、まもなく30秒から1 分弱の痙攣を起こす。間代性で眼球の左偏位があり、チアノーゼも出たが、すぐに落ち着 きを取り始めた。意味不明の言動と深い眠り、向度も呼ばない返事をしなかったり、 返事しても目を開けなかったり、目の焦点が定まらなかったりした。(夜)発熱と頭痛あ り。(21:00)2回目の本剤服用。 2007/3/4 (0:00)2回目の本剤服用から3時間後、それまで寝ていたのに突然飛び起 き、まるで飛び込むように階段の方へかけていった。保護者が追いかけて止めた。そ の時はもう目が泳いでしまい、保護者の言うことはまったく耳に入らず、まるで何かにと りつかれているようだった。トイレをさせても変なところへかけてしまい、手を洗おうと しても、ただ手を濡らしては動かぬような状態でおきつけて落ち着くまでに5〜10分 かかった。その後、また寝た。その時の状況は本人は覚えていなかった。 2007/3/5 熱も下がりが元気になるってきたが、3回ほど声をかけないと返事をしない、焦 点が定まらない症状が続いた。 2007/3/6 普通の状態になった。	
49	B07022876	6	年	不明	異常行動	2008/1/12	1日2回	2008/1/12	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2008/01/12 インフルエンザ治療のため、本剤(49mg×2/日)投与開始。 同日、玄関まで突然走っていった。異常行動(非重篤)が発現。 2008/01/16 転帰不明。	
50	B07026153	6	年	男性	異常行動	2008/2/6 2008/2/7 2008/2/7 2008/2/8	午後	2008/2/7	夜	-	-	5〜10分	Yes	発熱持続中	No	No	No	-	-	2008/02/06 インフルエンザA型に対して、本剤39.9mg×2回/日処方。午後より内服開 始。 2008/02/07 (夜)39.7℃の高熱があり、突然起き上がり、家中を走り回った。涙のわ からないことを話し、5〜10分間続いた。異常行動(非重篤)発現。その後症状回復。 2008/02/08 (12:30)診察。体温36.7℃。反応は普通で異常なし。本剤午前内服後、投 与中止。	
51	B08026307	6	年	男性	異常行動	2008/12/21	12:00	2008/12/21	15:00	○	Yes	3時間以内	-	Yes	-	-	-	-	No	2008/12/21 (10:00)点滴施行に際し、日頃にないわく感じあり。 (12:00)本剤40mg投与。 (15:00頃)異常行動発現。眠りから急にムサツと起き部屋をグルグルまわる。 (16:00頃)2階から1階に降りて、外に出ようとして母が制止し、意識清明となる。 異常行動の転帰：回復	
52	B08028327	6	年	男性	異常行動	2009/1/20〜 2009/1/24	1日2回	2009/1/22 2009/1/23	-	○	-	-	No	-	No	No	-	-	No	2009/01/20 頭痛、気分不良で当院受診。インフルエンザと診断。本剤43.8mg×2回/日服用(計9回 服用)。 ムカムカ(医師重篤度：非重篤)発現。初診後一日中ムカムカしていると訴えあり。 2009/01/22 興奮(医師重篤度：非重篤)発現。 幻視(医師重篤度：非重篤)発現。虹が見えるという幻視。 2009/01/23 異常な行動(医師重篤度：非重篤)発現。うなされ、怖い夢をみた。走り回ったりした。 よしいかへる。 2009/01/26 ムカムカの転帰：回復、興奮の転帰：回復、幻視の転帰：回復、異常な行動の転帰：回 復	
53	B08031693	6	年	女性	異常行動	2009/3/4	-	2009/3/4	服用3時間半 後	-	-	-	-	発熱持続	-	-	-	-	-	2009/03/04 インフルエンザ治療のため本剤投与。 (服用後およそ3時間半後)異常行動(医師重篤度：非重篤)発現。急に家中を走りま わったり、着ている物を脱ぎだした。熱は38度4分。本剤1回服薬まで確認している。そ の後の服薬状況(中止したか否かを含めて)は不明。転帰も不明。 異常行動の転帰：不明	
54	B05020834	7	年	女性	①幻覚 ②異常行動	2005/12/12	11:00、18:00	2005/12/12	19:00、24:00	○	Yes	1時間、約5 時間	5〜6分	-	発熱持続	No	-	-	-	No	2005/12/12 朝、他院にてタミフルドラシロップ4mg/kg/日処方される。(11:00)タミフル 2mg/kg内服。(18:00)タミフル2mg/kg内服後、寝かせる。(19:00)突然起き出し、ドアノブ を強く回し続ける。又、左手に黒い点が見えるなどと訴える。(19:10)就寝。(24:00頃)突 然起き上がり、同様の行動をとる。(24:10)就寝。 救急車にて当院搬送。 2005/12/13 朝、何事もなかったように起床。MRI、血液検査を実施するが、異常は認 められなかった。念のために入院したが、異常行動は起こらなかった。
55	B05023592	7	年	男性	①譫妄 ②失見当識	2006/1/18 2006/1/19	夕 朝・夕	2006/1/19 2006/1/20	21:00 1:30、12:30、 18:00	○	Yes	-	-	-	-	-	-	-	-	2006/01/18 (夕)インフルエンザ様症状に対して、タミフル50mg投与開始。 2006/01/19 (朝)夕タミフル50mgずつ投与。(21:00頃)眠っていた後突然起き上がり、そ こにいらない友人の名前を呼びながら徘徊。急に笑ったり、物を数える。せん妄(非重 篤)、見当識障害(非重篤)発現。(22:00)入院。輸液経路観察。せん妄以外は意識清明 で、発熱、恐怖症状は見せていたが、全身状態は落ち着いていた。 2006/01/20 (1:30)(12:30)(18:00)眠っていた後期間後、意味不明な事を言い笑う。問 いかけの返事はあいまい。5〜6分続いた覚醒。せん妄、見当識障害回復。 2006/01/21 解熱。以後は覚醒時せん妄なし。	

異常な行動が記録されている事例の追加調査結果

※：継続投与後に異常行動を含む精神神経系症状を発現した事例
*：継続投与後に異常な行動を含む精神神経症候を発現しなかった事例

No	識別番号	年齢 数値	年齢 単位	性別	PT名称	タミフル 服用時刻		異常な行動発現時刻		就寝中か否 か (就寝中：○、 就寝中じゃない、×)	覚醒直 後に発現	就寝中の場 合、就寝時 刻から発現 までの時間	回復まで の時間	一眠りして 完全回復	体温	患者の記性	睡眠覚醒症 等の既往	睡眠覚醒 症等の家 族歴	光に対する 反応	他剤による 「異常な行 動」の副作 用歴	異常な行動 に関する既往 歴	異常な行動の 具体的な詳細 (例：幻覚については具体的に何が見えたか？本人が幻覚を見たのか、 親が幻覚を見ていたかどうかと言っているのか？)	
						朝	夜	朝	夜														
56	B05023597	7	年	男性	異常行動	2006/1/15	朝、18:00	2006/1/14	夜 18:30	-	-	-	5分	Yes	発熱持続	-	-	-	-	-	無	突然、「うわっ、うわっ」と大声(奇声)を出し目を見失って両手を振り上げ呼び出した。勢いよく外へ飛び出しなくなった。翌朝に連絡し探していたところ近所の家にいるところを発見。異常行動としての時間は約5分くらいのものであった。	
57	B05023978	7	年	男性	異常行動	2006/1/13	19:00頃	2006/1/14	AM 1:00頃	-	-	-	数時間	Yes	-	-	-	-	-	-	不明	2006/01/13 (朝)発熱あり。(夕18時頃)前夜受診し、インフルエンザの診断で本剤と漢方薬の処方あり。(19時頃)本剤服用。(時間不明)漢方服用。 2006/1/14 (1時頃)顔を半開きで寝ていて、母親が「まただ」と思っていた。左顔面の掻痒感のかきめによる動き、両上肢屈曲あり。急にびくびくして怖がる様子で叫び出して、外に走り出そうとした。台所に隠れようとしたりする行動が2回あり(合計の持続は計5分くらい)。家族が抑制し、救急車を要請。異常行動発現。(2:30頃)救急車到着時、会話可能であり、四肢運動障害なし。構音障害なし。両親は「まだ少し表情が変」と。当院緊急外来にて経過観察。(9:00頃)小児科診察時、意識清明。異常行動回復。脳炎、脳症の可能性も否定できず入院。	
58	B05025721	7	年	男性	異常行動	2006/2/13	17:00	2006/2/13	22:00	○	Yes	5時間	1時間	No	発熱持続	No	No	No	-	No	無	2006/2/12 (午後)38.7℃。倦怠感、嘔吐、近視にてインフルエンザ(-)。 2006/2/13 (午後)39.5℃。近視にてインフルエンザA型と診断。タミフル処方。(17:00)タミフル1回目内服。その後内服。(22:00)トイレに起き、部屋で排尿。階段を昇ったり降りたり。突然笑ったり音話をしたりした。体温38.2℃。 異常行動は約1時間ほど続いた。その後タミフル2回目内服されている(異常行動は認められていない)。病院受診はせず。経過観察している。 2006/2/14 朝より発熱。本剤は内服せず。いつもよりボーっとして寝てばかりいる。(夕方)近島受診し、タミフルの副作用疑いで当院紹介。経過観察のため入院。点滴後(夕方)1200cc、リタT3 500cc × 2本)元気が出てくる。インフルエンザ軽快。異常行動軽快。 2006/2/15 全身状態良好にて退院。	
59	B05025722	7	年	男性	異常行動	2006/2/5	15:30	2006/2/5	16:30 17:30	×	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	無	2006/2/5 (9:00)40℃の発熱。(12:30)前夜受診。インフルエンザと言われ、タミフル(80.1mg × 2/日)、セフゾン、ペリアクセン、解熱剤処方。(15:30)上記処方薬を内服。(16:30)急に立ち上がり、ケタケタ笑う。トイレにこもり大きな音をたてる。一旦内服。異常行動発現。(17:30)話しかけても無反応。視線が合わない。フラフラして立てない。物がつかめない。(21:00)39.3℃。解熱剤使用。(23:00)当院受診。 2006/2/6 (1:30)当院入院。入院時、意識清明。異常行動なし。体温39.4℃。 2006/2/7 (日中)以降異常行動なし。脳波、左後頭部に除波。MRI左側頭葉に高信号。 2006/2/10 異常行動軽快退院。外来での経過観察が必要。 2年前にも本剤服用あり。問題はなかった。	
60	B06025421	7	年	男性	異常行動	2007/2/26	15:00	2007/2/26	17:30	×	No	-	10分	Yes	発熱持続	No	-	-	-	-	No	2007/2/26 他院にて、A型インフルエンザに対して、タミフル処方。(15:00)タミフル51mg内服。(15:30)アセトアミノフェン内服。(17:30)突然立ち上がり、2階から1階に走って降りてきて廊下の中を走り回った。「ここか、ここか」と話しながら、うろちうろち回った。母親が患児を動かさないように抱きしめていた(約5分間)。 次第に落ち着いてきて、入眠した。(18:55)当院救急室来院。そのときは既にいつもの状態にもどっていた(異常行動回復)。意識清明であったが入院して経過をすることにした。 入院後、水分補給の目的で点滴実施(リタT3 500mg × 2回/日 ~ 2/27)。リレンザ10mg × 2回/日 (~ 3/3)を処方したところ、解熱。入院後、異常行動は全くみられなかった。(21時)体温:38.9℃ 2007/2/27 (3時)体温:39.1℃(7時)体温:37.7℃。退院。インフルエンザ軽快・回復。	
61	B07002051	7	年	男性	異常行動	2007/3/12	11:00	2007/3/12	15:00	-	Yes	-	2時間	Yes	発熱持続	No	No	No	No	No	無	3月12日(11:00)本剤服用。(15:00)ベッド上で暴れ、奇声をあげる。母が抑制し10分程度で暴れなくなった。(17:00)当院再診し、診察上音動やや不安定だが指示には従う。名前、年齢は答えられるが、「どこにきているか」の問いかけには「わからない」と答える。神経学的異常所見を認めず(meningeal signs(-))。(夜間)最高40℃までfever upするもせん妄、異常行動認めず、入眠した。 3月13日(8:00)体温37℃台まで解熱。母によると、易疲労訴えあるが、そのほか異常は認めなかったとのこと。	
62	B07002056	7	年	男性	異常行動	2007/3/14	19:00	2007/3/15	1:30	○	Yes	-	Yes	Yes	発熱持続	No	No	No	-	No	No	3月15日(1:30頃)異常行動発現。起き、2階の階段を下りようとして、その際母親を跳ね飛ばし、母親が階段から落ち、骨折。患者はその後父親に抱きつき、そのまま眠ってしまった。	
63	B07002858	7	年	男性	①嘔吐 ②異常行動	2007/4/11 2007/4/12	夕 14:00	2007/4/12	14:00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	調査不可能	2007/4/10発熱。 2007/4/11 (夕)タミフル60mg内服。嘔吐(重篤度不明)発現。 2007/4/12 (2:00)タミフル60mg内服。ばたばた暴れだし、大きな声上げながら部屋から飛び出す行動(異常行動)発現。(8:00)本剤60mg内服。頭痛、異常行動(天井を見る)。当院受診。(入院時)異常行動は観察されていない。異常行動軽快。	
64	B07011933	7	年	男性	異常行動	2007/3/22 2007/3/22	朝 夕	2007/3/22	12:00	×	-	-	-	-	-	解熱過程	-	No	-	No	No	無	(2004/08)「入浴後、蒼白となり、数分間意識がなくなることが以前から10回くらいあった」と来院。血液検査：正常。 (2004/09) 頭部MRI：正常。EEG：頭頂部を中心に高振幅波、sharp & wave 散発。年齢とともに減少しており、発作回数を追うことに。その後、発作なし。 2007/3/21 インフルエンザA型と診断。 2007/3/22 (11:30)タミフル1回目服用。(12:00過ぎ)興奮、大声を出す(異常行動)発現。(19:30)タミフル2回目服用。(20:00過ぎ)興奮、大声を出す。目つきがおかし。動き回る。2階の部屋で階段へ突っ走るのを母が抱きとめて制止。
65	B07012130	7	年	男性	異常行動 意識消失 激越	2007/3/23 2007/3/24 2007/3/25 2007/3/25 2007/3/26	夕 朝 夕 夕 朝	2007/3/26	昼	×	-	-	-	-	-	解熱過程	-	-	-	-	No	熱性痙攣	2007/3/26 昼に飛び出しそうになった。異常行動を起こした。興奮状態でバタバタとした。(2時間後)2-3分間の意識消失発作。(夜)2-3分間の意識消失発作。頭痛がしてボーっとした。頭痛は続いた。興奮して眠れない状態になった。

異常な行動が記録されている事例の追加調査結果

※：継続投与後に異常行動を含む精神神経系症状を発現した事例
*：継続投与後に異常な行動を含む精神神経症候を発現しなかった事例

No	識別番号	年齢 数値	年齢 単位	性別	PT名称	タミフル 服用時刻		異常な行動発現時刻		就寝中か否 か (就寝中：○、 就寝中じゃない、×)	覚醒直 後に発現	就寝中の場 合、就寝時 刻から発現 までの時間	回復まで の時間	一眠りして 完全回復	体温	患者の記 憶	睡眠覚醒 等の既往	睡眠覚 醒等の家 族歴	光に対 する反 応	他剤によ る異常 行動の 副作用	異常な行 動に 関する 既往 歴	異常な行動 の 具 体的な 詳細 (例：幻覚については具体的に何が 見えたか？本人が幻覚を見たのか、 親が幻覚を見ていたかと言っている のか？)		
						開始時刻	終了時刻	開始時刻	終了時刻															
66	B07013248	7	年	女性	異常行動	2007/2/10	—	2007/2/10	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	無	インフルエンザに対して、本剤投与開始。服用後、数時間後に異常行動発現(非重篤)。ベランダの方へ歩き出し、親が、取り押さえず大事に至らず。左右もわからない状態で、訳のわからないことも言っていたとのこと。		
67	B07013301	7	年	男性	異常行動	2007/3/23 2007/3/23 2007/3/24 2007/3/24	朝夕 朝夕 朝夕	2007/3/24	夜	○	—	—	—	Yes	—	—	—	—	—	—	No	無	2007/3/23 A型インフルエンザに対して、本剤44mg×2回/日投与開始。発症時自覚所見、発熱39.3℃(3/23) 咳、鼻症状(鼻水、鼻づまり、くしゃみ)、 2007/3/24 (夜)本剤内服。異常行動発現(非重篤)。睡眠中、ムクツと起きて2階に駆け上がった。鍵につられて泣きながら下りてきて、すぐに寝た。 2007/3/28 インフルエンザ回復	
68	B07013303	7	年	女性	異常行動	2007/2/26 2007/2/26 2007/2/27 2007/2/27 2007/2/28 2007/2/28	12:00 20:00 8:00 20:00 8:00 20:00	2007/2/27	10:00	×	—	—	6時間	Yes	解熱過程	No	No	No	No	No	No	無	2007/2/24 (13:00)発熱(38.4℃)あり。熱発あったが、元気が過剰に高かった。 2007/2/26 (12:00)本剤40.5mg内服。(16:00)37.6℃、いつもより落ち着きがない感じであった。(20:00)本剤40.5mg内服。 2007/2/27 (8:00)本剤40.5mg内服。(10:00)異常行動発現(非重篤)。37.2℃。布団でテレビを見ていて、すいすいベッドで突然1分と2分を何度も繰り返す。理解できない強い音を出していた。ついに、外へ飛び出すところまで、家人が取り押さえず、事なきを得た。この時の記憶は残っていない。理解できない口を口を走っていた。(16:00)症状回復。徐々に落ち着きを取り戻した。(20:00)前日と比べ、症状安定したため、予定通り本剤40.5mg内服。 2007/02/28 (8:00)本剤40.5mg内服。(20:00)本剤40.5mg内服。	
69	B07013309	7	年	女性	異常行動	2007/3/19 2007/3/19 2007/3/20 2007/3/20 2007/3/21 2007/3/21	朝夕 朝夕 朝夕 朝夕	2007/3/19	—	×	—	—	—	Yes	—	—	—	—	—	—	No	無	2007/3/19 インフルエンザBに対して、本剤40mg×2回/日投与開始。1回目の本剤服用後1時間して意識がおかしくなりベランダへでていこうとした。鍵がかかっている本人がドアを叩きかけた。同日症状回復。 2007/03/21 本剤投与終了。	
70	B07013377	7	年	女性	異常行動	2006/2/21	—	2006/2/22	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	無	2006/2/21 タミフル(剤形不明)の投与を開始 2006/2/22 異常行動が発現。布団で寝ていたが、急に起き上がりベランダに置いてあったテーブルの上に乗ってへらへら笑っていたとのこと。	
71	B07013384	7	年	男性	幻聴 幻覚 譫妄	2007/3/5	19:00	2007/3/5	20:00	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	無	2007/3/5 (18:30)当院受診し、インフルエンザAと診断。(19:00)本剤40mg×1日/日の投与開始。(20:00)幻聴(精神症状)、幻覚、せん妄発現(非重篤)。「こわい」「学校へ行くぞ、不可解な発言と、突然立ち上がり、外へ出て行くとする行動あり。病院薬局へ電話が入り、監視と、症状が続くなら救急病院への受診を指示。本剤中止指示。(夜)他院受診。受診時特に問題とみえず、解熱剤用用の処方を受け帰宅。 2007/3/6 (12:40)当院再診。夜間も高熱持続し、少しおかしな発言はあったというが、来院時は消失していた。一方、鼻汁、嘔吐をみとめ、ホクナリンテープ1mg/日、ポラミンDS 2.9g/日分3、アスベリン 0.4g/日分3を処方した。以降受診なし。回復したと思われる。	
72	B07018715	7	年	男性	異常行動	2007/11/10 2007/11/10	朝 20:30	2007/11/11	0:00	—	—	—	—	Yes	—	—	No	No	No	No	No	—	2007/11/09 夜 38.5℃の発熱。 2007/11/10 朝 38.3℃の発熱で来院。インフルエンザA型と診断。以前、熱性痙攣を起したことがある。臍白アトピーが強いので、インフルエンザの予防接種は不可能。本剤 朝、夕(20:30)服用。 2007/11/11 0:00 起き出しトイレに行くかと母親は思ったが、玄關に向かっている、その後ベランダに向かって走り出し、外に出ようとした。母親が捕まえたが、離してくれと叫び、殴るなど暴れた。異常行動 発現。 母親が祖母に電話し、泣いている姿をみて我に返ったように「どうしたの?」と言った。異常行動 回復。 母親がそのとき抱きしめていた感覚では熱はなかった様子。翌日から本剤投与中止。	
73	B07023001	7	年	女性	夢遊症	2007/12/14 2007/12/15 2007/12/15 2007/12/16	夕 朝 夕 朝	2007/12/15	19:00-20:30	×	—	—	1時間30分	Yes	解熱過程	No	No	No	No	No	No	No	2007/12/15(19:00-20:30) 横臥中、突然立ち上がり、部屋内を夢遊病のように歩き回った。	
74	B07023857	7	年	男性	異常行動	2008/1/29	12:30	2008/1/29	13:50	○	Yes	—	—	Yes	発熱持続中	—	—	—	—	—	No	—	2008/01/29 (12:30)本剤内服後就寝。体温:39.3℃。(13:50)起きてトイレに行った。母親に怖い夢をみたと言っていた。 トイレから帰って又、寝たがすぐに起き上がり、玄關を開けて外に出ようとした。あわてて母親が止めて又寝かせた。 本剤服用は1回のみ。	
75	B07025434	7	年	男性	異常行動	2008/2/12	13:00	2008/2/12	—	○	Yes	30分以内	2時間	Yes	不明	No	No	—	—	—	No	—	2008/02/12 (11:30)39.2℃。 (13:00)インフルエンザA型治療のため、本剤54mg投与。 (13:30)患児が入眠したことを母が確認した。約30分後に屋外に立っているところを発見された。うつろな目でホーとしていた。尿失禁をしており、風呂場へ行ったところ「靴下の履き方が悪い、洗濯籠が悪い」と泣いた。異常行動(非重篤)発現。シャワー浴後に就寝した。 (16:00)異常行動回復。	
76	B07026155	7	年	男性	異常行動 幻覚	2008/2/4	12:00~16:00	2008/2/4 2008/2/4	22:00 16:00	○	—	1hr	数分	Yes	発熱持続中	No Yes	No	No	No	—	—	—	血友病	2008/02/04 (午後)インフルエンザB型治療のため、本剤42mg/日投与。(16:00)昼寝時、岩が落ちてくる。と言って覚醒する。幻覚(非重篤)発現。(22:00)奇声をあげて走りまわる(非重篤)。 2008/02/05 (朝)解熱。正常に戻る。奇声をあげて走りまわる、幻覚回復。 2008/02/10 インフルエンザ回復。

異常な行動が記録されている事例の追加調査結果

※：継続投与後に異常行動を含む精神神経系症状を発現した事例
*：継続投与後に異常な行動を含む精神神経症候を発現しなかった事例

No	識別番号	年齢 数値	年齢 単位	性別	PT名称	タミフル 服用時刻	異常な行動発現時刻	就寝中か否 か (就寝中：○、 就寝中じゃない、×)	覚醒直 後に発現	就寝中の場 合、就寝時 刻から発現 までの時間	回復まで の時間	一眠りして 完全回復	体温	患者の記 憶	睡眠覚 醒時の 既往	睡眠覚 醒時の 家族 歴	光に対 する反 応	他剤に よる 「異常な 行動」 の副 作用	異常な 行動 に 関 する 既往 歴	異常な行動の 具体的な詳細 (例：幻覚については具体的に何が 見えたか？本人が幻覚を見たのか、 親が幻覚を見ていたと言っているのか？)
77	B07028194	7	年	男性	譫妄	2008/1/18 午後	2008/1/18 夜	○ 入眠過程	-	-	-	Yes	-	Yes	No	-	-	No	-	2008/01/17 (午後)インフルエンザ発症。体温39.5℃。 2008/01/18 (午前)体温38.2℃。(午後)インフルエンザAIに対して、本剤60mg、カロナールを服用。体温39.2℃。(夜)譫妄発現(非重篤)。「わけのわからないこと」を言い、さらに数時間後「暮れたい」などと口走ったため1回だけの服用で全ての服薬を中止。体温不明。 2008/01/19 (朝)平熱となる。 2008/01/20 (昼)微熱のほかは平熱。同症状は19日、20日、21日の毎夜出現(昼間は異常なし)。 2008/01/22 (夜)横になると何も起き上がり、「我慢できない。暮れたい」と走り、部屋の中を小走り回った。「頭の中にダンベルが出てくる」とも言い、開眼していたが、目の前の母親ではなく違うところを見ていた。 2008/01/23 再診。36.8℃。本人は「なぜかわからないが暮れたい」とのこと。 2008/01/24 再診。前夜はぐっすり眠り、何も起こらなかったとのこと。
78	B08000402	7	年	男性	異常行動	2008/2/20 1日2回	2008/2/21 ①1:00 ②14:00 ③23:50	○	Yes	-	①しばらく ②15分 ③15分	Yes	発熱持続	No	No	No	No	No	無	2008/02/21(1:00頃)異常行動(非重篤)発現。母親が横に寝ていたにもかかわらず、急に起き上がり「お母さん」とさげんで走り出し、壁にぶつかって顔面を殴りつけた。しばらく泣いていたが、抱っこしてそのまま入眠。39.3℃。 (13:00)テレビをみながら眠ってしまった。 (14:00頃)異常行動(非重篤)発現。「テレビがうるさい」と言ったので、すぐにテレビを消したが、「消えていない」と言ってテレビの画面を指でガリガリとひっかいて、突然激しく泣いたり、目を握りつぶしたりを2~3分毎15分くらい繰り返した。その後入眠。38.5℃。 (22:00頃)就寝。 (23:50頃)異常行動(非重篤)発現。睡眠中に「どうしてお母さんはそんなに大きいんだ」と怒りだした。母親が身体を丸くして(小さくしていたが)、怒ったり泣いたり、立ち上がったりを15分くらい繰り返して入眠。37.6℃ 2008/02/22 (8:00)異常行動回復。
79	B08024158	7	年	男性	異常行動	2008/12/4 2008/12/5 18:00 9:00	2008/12/5 ①3:00 ②15:00	○	Yes	-	-	Yes	発熱持続	①なし ②あり	No	No	No	No	-	2008/12/05 (3:00頃)異常行動(医師重篤度：非重篤)、幻覚(医師重篤度：非重篤)発現。突然起きだし人を追い払うような動作とともに家中を逃げ回った。階段の昇り降りを数回繰り返し、母親が制止しても恐い恐いと叫んでいた。しばらく母が介抱したら、大人しくなって寝た。患者の記憶なし。 異常行動の転帰：回復、幻覚の転帰：回復 (9:00)本剤投与。 (15:00)異常行動(医師重篤度：非重篤)、幻覚(医師重篤度：非重篤)発現。「虫がいて怖い」と祖母に伝え泣いていた。家中を落ち着きなく歩き回っていた。祖母に介抱されておとなしくなった。患者の記憶あり。 (17:00)他院に紹介され、脳症の疑いもあるとのこと副作用以外に入院も勧められたが、本人、患者家族の希望で入院は避け、自宅療養。本剤内服は以降中止している。 異常行動の転帰：回復、幻覚の転帰：回復
80	B08027285	7	年	男性	異常行動	2008/12/25 2008/12/26	2008/12/25 2008/12/26	-	○	Yes	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2008/12/25 (午前)インフルエンザ迅速検査でA陽性。3歳児本剤内服歴あり。異常な行動のため処方。 (昼)50mg1回内服し寝ていたが急に起きあがり机のまわりをぐるぐるまわる。コップわたすと水を手を入れる。ふとんの一点をみつめている等の行動あり発現(医師重篤度不明)。 2009/12/26 寝ていたが急に起きあがり机のまわりをぐるぐるまわる。コップわたすと水を手を入れ、 2009/01/17 インフルエンザ(A)に対し本剤投与。 2回服用後、異常行動(医師重篤度：非重篤)発現。わけもなく物を探しまわる、トイレに行くと水のみ流す、便器に手を入れ何かをしようとする。(ただ、以前から発熱したりするようになったらフンの上のみで何かをさがそうとするような行動があった。ただ今回はこれまでと違う印象を強く受けた。 異常行動の転帰：回復
81	B08027730	7	年	男性	異常行動	2009/1/17 2回服用	2009/1/17	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2009/02/01 インフルエンザに罹患。 (夜)本剤服用開始。異常行動(医師重篤度：不明)発現。夜中に起き上がるなどが2~3回続いた。その他うわ言、手の振るえなど。 2009/02/04 (昼)熱はさがったが、勝手に部屋から出て別の部屋に入った。トイレではないといい、隠れただけだとかなかなか変なことを言っている。 異常行動の転帰：不明
82	B08028876	7	年	男性	異常行動	2009/2/1~	2009/2/1 2009/2/4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2009/02/01 インフルエンザに罹患。 (夜)本剤服用開始。異常行動(医師重篤度：不明)発現。夜中に起き上がるなどが2~3回続いた。その他うわ言、手の振るえなど。 2009/02/04 (昼)熱はさがったが、勝手に部屋から出て別の部屋に入った。トイレではないといい、隠れただけだとかなかなか変なことを言っている。 異常行動の転帰：不明
83	B02014446	8	年	女性	情動状態	2003/1/17 2003/1/18 2003/1/19 2003/1/20 夕 朝・夕 朝・夕 朝	2003/1/19 2003/1/20 夕 来院時	-	No	-	No	No	-	-	-	-	-	No	無	2003/1/15 発熱38.6℃。他院受診しバチン他が処方された。 2003/1/16 当院受診。高熱、頭痛、嘔吐、上肢痛、咽頭痛、咳あり。インフルABクイックにてインフルエンザウイルスは検出されなかった。タミフルライソロップ1.2g/日、ユナシリン、アスピリン、ムコダインが処方された。 2003/1/17 タミフル剤投与。 2003/1/19 タミフル剤投与。異常にオチャメな感じであった。母親によると、ほろ酔い状態であるとのこと。 2003/1/20 当院来院。来院した際、診察室に入るときにカーテンにかけハゲマツと入って入ってくる。何を話しても笑いだす。軽口をたたく。このときの体温は36.9℃でありインフル剤は回復していた。全身状態は良好であった。朝の服薬にて本剤を中止とした。以後も症状は継続したが、本剤中止後次第に症状は軽快していった。 2003/1/22 ユナシリン、アスピリン、ムコダイン中止。 2003/1/23 タミフル剤投与は回復。

異常な行動が記録されている事例の追加調査結果

※：継続投与後に異常行動を含む精神神経系症状を発現した事例
*：継続投与後に異常な行動を含む精神神経症候を発現しなかった事例

No	識別番号	年齢 数値	年齢 単位	性別	PT名称	タミフル 服用時刻	異常な行動発現時刻	就寝中か否 か (就寝中：○、 就寝中じゃない、×)	覚醒直 後に発現	就寝中の場 合、就寝時 刻から発現 までの時間	回復まで の時間	一眠りして 完全回復	体温	患者の記 憶	睡眠覚醒 等の既往	睡眠覚 醒等の家 族歴	光に対 する反 応	他剤によ る異常な 行動の副 作用	異常な行 動に 関する既往 歴	異常な行動の 具体的な詳細 (例：幻覚については具体的に何が 発現したか？本人が幻覚を見たのか、 親が幻覚を見ていたかと言っている のか？)
84	B05000677	8	年	男性	①意識レベルの低下 ②異常行動	2005/3/28 10:00, 22:00	2005/3/28 17:00 12:00 22:00	×	No	—	数時間 2~3時間の 間に2回	Yes	発熱持続	No	No	—	No	No	無	2005/03/28 (9:00)昨日の発熱の為、近医受診しインフルエンザA型と診断。(10:00)帰宅後、タミフル内服。(12:00)度々嘔吐を口にする。(増にそぐわない意味不明な発言)意識障害、行動異常が発現。(17:00)上肢のピクツキと意味のない指差運動出現。(18:00)近医再診したが、神経学的異常無くそのまま無処置で帰宅。(22:00)タミフル内服。その後より急に起き上がり、歩き回り、幻覚も合併。以降、本剤の投与を中止。 2005/03/29 (1:30)当院救急外来受診。応答は可能であったが、舌なめずりや繰り返し髪を引っ掛ける等の異常運動認め、入院。ソリタ3とグリセオールにより、輸液開始。(8:00)異常運動消失し、神経学的にも正常所見。
85	B05001224	8	年	男性	幻覚 客観的なき 異常行動	2005/3/18 10:30	2005/3/18 13:30	×	Yes	—	—	—	—	—	—	—	—	—	無	2005/03/18 (午前中)受診。インフルエンザA型と診断。(16:30頃)インフルエンザA治療の為、タミフル55mg×2/日投与開始。その後入院。(18:30頃)覚醒直後から幻覚などの異常行動が出現。'思い思いと追いかけてくると言って外に出ようとする'当日中に再度受診し、生食点滴にて症状回復。
86	B05018854	8	年	男性	異常行動	2005/11/13 11:30	2005/11/13 内服1時間後	○	Yes	1時間	1時間	Yes	解熱過程 →?	No	No	No	No	No	無	午睡後、突然起き上がり玄関から飛び出していこうとしたため、母親が玄関先で現を制した。その際に、本人及び兄の名前を尋ねるも全く答えられず、うなり声をあげたりと不穏状態を呈していた。(その後1時間程)医師の指示を受け、母親がおよそ1時間程部屋の中から出ないように注意を払っていたところ、徐々に異常行動も抑制され、次第に記憶も回復してきた。 服用後すぐ就寝。覚醒後すぐ発現。
87	B05021659	8	年	男性	異常行動	2005/12/25 12/26~28 12/29	2005/12/25 21:00	—	—	—	10分	—	発熱持続	—	—	—	—	—	無	2005/12/24 (夜)発熱。 2005/12/25 (14:00)インフルエンザA型と診断。タミフルライシロップ51mg×2回/日処方。(16:00)本剤51mg、ムコダイン0.5g、アスピリン0.3g内服。(20:30)ムコダイン0.5g、アスピリン0.3g内服。(21:00)入浴に話しかける、部屋を歩き回る、意味なく笑い出す、丸を唱えるなどの異常行動が出現し、救急受診(待機時間10分)。(21:26)来院時、意識はほぼ清明(JCS-1-II)。入院。 2005/12/26 解熱。 2005/12/27 退院。 2005/12/29 本剤朝内服後、投与終了。
88	B05022380	8	年	男性	異常行動	2006/1/16 13:00	2006/1/16 16:00	×	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	無	(16:00)背声を上げる。意味不明な事を言う。敵が敵えられない、自分の年齢がわからない、異常行動発現。(20:00)当科入院。入院時異常行動なし。点滴のみで経過観察。2006/1/17(1:00)自分で点滴抜き、病棟内を一人でウロウロ歩く、その後入院。以降症状なし。
89	B05022780	8	年	男性	①激越 ②異常行動	2006/01/30 朝、20:30	2006/01/31 0:00、6:00	○	Yes	2.5時間後、 5時間後	12時間、6時 間	Yes	解熱過程	No	No	No	No	No	髄膜炎	2006/1/30 インフルエンザAのためタミフル46.5mg2/日投与開始。(20:30)2回目のタミフル服用、39.6℃。(21:30)就寝。 2006/1/31 (0:00)急に大声でわめきながらおきる。父母が話しかけても返事もせず。目を大きく見開き普通ではない状態。「行こう！行こう！」と大きな声で言いながらベッドや、椅子の上に乗りピョンピョン飛び上がる。父母が抱いてなだめても「行かないだ！おいで！」と振り切って家中を歩き回る。歩き方も軍隊歩きのように両手を大きく振って歩く。(0:15)やっとなだめて水分を飲んでベッドに寝かしつける。ウトウトする。(0:40)お度か痛い」と起き下床。38℃。先程起きた時の事覚えていない。(1:00)ウロウロで歩いて起きる。(6:00)「ごめんね。ごめんね。…」と小さい子のようなかわいいうる声で言い続ける(普通のときの声ではない)。(12:00)起床。昨夜の事覚えていない。ポ一としている。36.8℃。本剤服用中止。 1/31、2/1 2日間とも夜から16~18時間寝続けた。 (12:00)二段ベッドの上段で手を広げて立ち上がっている。ベッドから飛び降りてベランダへ走っていき、手すりにつかまって飛び降りた。意味不明の言葉をブツブツと言う。何かが呼びかけると正気に戻る一途込む。(14:00)起きると再び意識障害あり「イシ」に行き行ってイシの中で尿失禁一途込む。(18:00)本剤服用。起きると意識障害(+)、意味不明のことを言う。精神神経症状、尿失禁(非重篤)発現。
90	B05023443	8	年	男性	①異常行動 ②尿失禁	2005/12/21 10:00、18:00	2005/12/21 12:00、 14:00、18:00	○	Yes	—	Yes	Yes	解熱過程	No	—	—	—	No	不明	(12:00)二段ベッドの上段で手を広げて立ち上がっている。ベッドから飛び降りてベランダへ走っていき、手すりにつかまって飛び降りた。意味不明の言葉をブツブツと言う。何かが呼びかけると正気に戻る一途込む。(14:00)起きると再び意識障害あり「イシ」に行き行ってイシの中で尿失禁一途込む。(18:00)本剤服用。起きると意識障害(+)、意味不明のことを言う。精神神経症状、尿失禁(非重篤)発現。
91	B05025720	8	年	男性	異常行動	2006/2/1 21:00	2006/2/1 ①21:30 ②22:20 ③夜中	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	無	2006/2/1 (朝から)発熱。(午前)前医受診。インフルエンザA型と診断。タミフル処方。(11:00)タミフル内服。(21:00)本剤と解熱剤内服。(21:30)ニタニタ笑う。両手で何かを掴もうとする。異常行動発現。(22:20)救急車で来院。入院。JCS0~1。曜日を開通させる。(夜間)ベッド欄をのり越えようとして、意味不明な言葉を発する事があった。 2006/2/2 (朝)意識清明。(日中)脳波、MRI一異常所見無し。 2006/2/3 異常行動軽快退院。外来で経過観察の予定。
92	B05026722	8	年	女性	精神症状	2006/01/19 夕方	2006/01/19 2006/01/20 深夜 昼、夜間	—	No	—	数分~数十 分	Yes	発熱持続	No	—	—	—	No	無	2006/1/19 発熱、39.8℃。咳、関節痛発症が認められた為インフルエンザ確定診断実施。結果、FluA、サンプル、鼻液 (夕方)本剤投与。(54mg/日)(深夜)40℃の発熱とともに2回背声をあげて起き上がり室内を歩きまわった。中枢神経症状発現。(非重篤) 2006/1/20(昼)37.5℃前後の発熱と同様の症状がみられた。本剤は朝より投与を中止している。(夜)他院受診。シムトレルを処方された。(夜間)うわ言を言っていた。(体温不明) 2006/1/21(朝以降)中枢神経症状はみられない。39.5℃ 2006/1/23 来院時37.0℃。咳、鼻症状、関節痛あり。中枢神経症状回復。 2006/1/25 来院時35.2℃。咳、鼻症状あり。インフルエンザ回復。
93	B07000086	8	年	女性	異常行動	2007/2/23 2007/2/24 夜 朝	2007/2/23 2007/2/24 投与3時間後	○	—	—	Yes	Yes	発熱持続	—	No	—	No	No	無	急に起き上がり「ドレドレ」と叫び部屋を走り回るため押さえる(5~6分継続)。寝たまま訳のわからないことを言うので、様子を見と「さわる」と言って寝れる。

異常な行動が記録されている事例の追加調査結果

※：継続投与後に異常行動を含む精神神経系症状を発現した事例
*：継続投与後に異常な行動を含む精神神経症候を発現しなかった事例

No	識別番号	年齢 数値	年齢 単位	性別	PT名称	タミフル 服用時刻	異常な行動発現時刻	就寝中か否 か (就寝中：○、 就寝中じゃない、×)	覚醒直 後に発現	就寝中の場 合、就寝時 刻から発現 までの時間	回復まで の時間	一眠りして 完全回復	体温	患者の記 憶	睡眠覚 醒等の家 族歴	睡眠覚 醒等の家 族歴	光に 対する 反応	他剤による 「異常な行 動」の副作 用歴	異常な行動 に関する既往 歴	異常な行動の 具体的な詳細 (例：幻覚については具体的に何が 見えたか？本人が幻覚を見たのか、 親が幻覚を見ていたかどうか？)	
94	B07000288	8	年	男性	異常行動	2007/3/31 2007/4/1	18:00～19:00 7:30	2007/3/31	23:00～24:00	○	Yes	—	30分	Yes	発熱持続	No	No	No	No	No	2007/3/30 咽頭痛、左肩の痛み、37.9℃の発熱、インフルエンザ迅速診断(-)、 2007/3/31 39.5℃の発熱、左肩の痛み増強。インフルエンザ迅速(+A)型、タミフル 42mg×2/日処方。解熱剤処方無し。(18～19:00)タミフル1包42mg内服。(23～24:00) 部屋をうろうろ歩き回る。急に水遊びを始める。ふとんが重いと言え。2階に走って 駆け上がり、寝ていた父親の枕を取り上げる。2階より勢いよく降り、外に飛び出し 行きそうになり、父親が押さえて止めた。この間体温は38.5℃程度であった。行動 異常(非重篤)発現。 2007/4/01 (0:30)就寝。(～7:00)普通に覚醒して夜間のことを尋ねるも、覚えてい なかった。(7:30)本剤1包42mg内服して当院にお母さんが報告し来院。以後中止するよう に指示。(9:00)行動異常回復。
95	B07001354	8	年	女性	異常行動	2007/3/21 2007/3/22 2007/3/23 2007/3/23 2007/3/24 2007/3/24 2007/3/25 2007/3/25 2007/3/26	18:00	2007/3/21	23:00	—	No	—	20分	Yes	発熱持続 中 解熱過程	No	No	No	—	No	3月21日(夕)本剤服用開始。(23:00)異常行動発現。 3月22日夜間、酸素マスクをはずして、点滴のラインをカチャカチャぶつけていた。酸素 マスクとナースコールをつなげようとしており、声をかけると我に返った。その後、突然 ベッドに立ち上がり、点滴を自己除去。高熱あり。声をかけても反応なし。手をベッドに ぶつける。本剤投与。(23:00)解熱傾向があったが、再びベッドの上に立ち上がる行動 があった。 3月26日(朝)本剤投与。異常行動回復。
96	B07003582	8	年	女性	異常行動	2007/4/22	14:00	2007/4/22	15:00	—	No	—	No	No	発熱持続	—	No	No	—	No	2007/04/22(10:00)インフルエンザA型と診断。(14:00)本剤内服。(15:00)頃突然2階に 走っていき、部屋をウロウロする。ずっとウトウトしていた(翌朝まで)。(21:00)本剤内 服。夜間、犬を呼ぶ動作、物を食べる動作、家の中を徘徊、手を何回も洗う、母のこ とをお姉さんと呼ぶ、尿失禁などがみられた。 2007/04/23(6:00)40℃の発熱。朝からボーンとして呼びかけへの反応も乏しい状 態が続くため、当院外来受診。精査加療目的に入院。脳波上、全散性の徐波を認め、 MRI所見なし。意識障害であった。 2007/04/24意識清明となり経過良好。(9:00)37.0℃
97	B07013003	8	年	男性	異常行動	2007/2/24 2007/2/25 2007/2/25	朝 朝 夕	2007/2/24	—	—	—	—	—	—	—	No	No	No	No	2007/2/24 (夕)A型インフルエンザ治療の為、本剤75mg×1/日の投与。発症時に認 められた自覚所見(発熱40.2℃、その他(腰痛)、本剤服用後、異常行動発現。ベッ ドからとびおりる。廊下を走りまわる。大声でわらう。意味不明の事を言う。体温 40.2℃。 2007/2/25 本剤(75mg×2/日)投与。体温37.4℃。異常行動回復。 2007/02/26 インフルエンザの転帰-軽快	
98	B07013253	8	年	男性	異常行動	2006/1/27 2006/1/27 2006/1/28 2006/1/28 2006/1/29 2006/1/29 2006/1/30 2006/1/30 2006/1/30	—	2006/1/29	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2006/1/27 インフルエンザに対して、本剤の投与を開始。 2006/1/29 内服後2階から階段へ飛び出す異常行動が発現。特別な処置はなし。本 剤の投与を中止。 2006/1/31 異常行動は回復。	
99	B07013258	8	年	男性	異常行動	2007/1/28 2007/1/29 2007/1/30 2007/1/31 2007/2/1	2回目服用 後、5-10分 間	2007/1/29	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2007/1/28 夜間 40℃の発熱があり、当施設に運ばれる。A型インフルエンザと診断 され、本剤2日分を処方。1回服用後に嘔吐。 2007/1/29 2回服用後 5～10分の間、騒ぐ。その後、ベランダへ出て行った(マンショ ンの10数階)。母親が部屋に連れ戻した後、続いてトイレへ駆け込み、大声を上げる。 異常行動(非重篤)発現。本人は一連の記憶なし。その後、寝かしつけ、異常行動は 回復。その後、他施設に来院。本剤を3日分処方され服用を継続したが、異常なし。 2007/2/1 本剤内服終了。
100	B07013304	8	年	男性	意識レベルの低下	2007/3/18 2007/3/18 2007/3/19 2007/3/19 2007/3/20 2007/3/20 2007/3/21 2007/3/21 2007/3/22 2007/3/22	2007/3/18	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2007/3/18 本剤投与開始(～3月22日)。意識混濁が発現。自宅の外に出る。意識混 濁は回復。	
101	B07013310	8	年	女性	異常行動	2007/3/20 2007/3/21 2007/3/22	207/3/20	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2007/3/20 本剤1回投与。投与約2時間後、理由もなく外に飛び出すとどう。異常言 動(非重篤)発現。家族が止め大事には至らなかった。 2007/3/22 異常言動回復。発熱もなくなった為に本剤の投与を中止した。
102	B07013385	8	年	女性	異常行動	2007/2/20 2007/2/21 2007/2/21 2007/2/22	夕 朝 夕 朝	2007/2/21	15:00	○	—	—	10分	Yes	解熱過程	No	No	No	No	No	2007/2/19 発熱、咽頭痛、頭痛、咳がある。 2007/2/20 受診。朝より38.0℃の発熱 検査にてインフルエンザA型と判定。本剤 49.5mg×2/日、コカール0.65g/回頓服、アミノシリン9ml、アスワート9ml、メクロセリン 7.5ml/日処方。本剤49.5mg/日投与。 2007/2/21 (15:00)寝ていた子供が急に大声を出して親に命令口調でしゃべりだし、走 り出して暴れた。異常行動(非重篤)発現。5分後位でおさまり本人はまた寝ていた。 (15:30)異常行動回復。その後そのことについて本人に聞くもまったく覚えていない。本 剤49.5mg×2/日投与。 2007/2/22 本剤49.5mg/日投与。 2007/3/7 (昼)発熱。夜中には38.5℃～39.5℃。突然わけのわからない事を大声で叫 び、走り出し、兄に襲いかかった。また何かが見えると幻覚症状を訴える。身体を震わ せて混乱した様子だった。異常行動(非重篤)発現。 2007/3/8 受診。インフルエンザB型と判定。前回と同じ薬を母親が希望。本剤投与とい かんにかかわらず、同様の症状出現。 不明 異常行動回復。

異常な行動が記録されている事例の追加調査結果

※：継続投与後に異常行動を含む精神神経系症状を発現した事例
*：継続投与後に異常な行動を含む精神神経症候を発現しなかった事例

No	識別番号	年齢 数値	年齢 単位	性別	PT名称	タミフル 服用時刻	異常な行動発現時刻	就寝中か否 か (就寝中：○、 就寝中じゃない、×)	覚醒直 後に発現	就寝中の場 合、就寝時 刻から発現 までの時間	回復までの 時間	一眠りして 完全回復	体温	患者の記 憶	睡眠覚醒 等の既往	睡眠覚 醒症 の家族 歴	光に 対する 反応	他剤による 「異常な行 動」の副作 用歴	異常な行動 に関する既往 歴	異常な行動 の具体的な詳細 (例：幻覚については具体的に何が見えたか？本人が幻覚を見たのか、 親が幻覚を見ていたかと言っているのか？)
103	B07013400	8	年	男性	異常行動	2007/3/5 14:30 2007/3/6 8:30 2007/3/6 21:00 2007/3/7 21:00	2007/3/8 1:00	×	-	4hr	2時間	Yes	解熱過程	-	No	No	No	No	無	2007/3/5 インフルエンザB型治療のため、本剤投与開始(45mg×2/日)。 2007/3/7 (21:00)38.4℃の発熱があり、本剤45mg内服(5回目)後、入眠した。 2007/3/8 (1:00)がぶつとつづきながら歩き回っていた。母が気がつく、引き戸 のロックを外してベランダを出ようとした。母が声をかけると止まった。その時点で 体温36.8℃と解熱していた。話をするうちに泣き出した。「右手に剣、左手に扇」等と 言っていた。「探している物が部屋の中になかったので、ベランダにあると思い、ベラン ダに出ようとした」と言っていた。異常行動(非重篤)発現。(3:00)次第に落ち着いて入眠 した。異常行動回復 2007/3/9(朝)起床時は異常なかった。本人は前日のことをかなり記憶していた。患児 はマンションFに居住していた。インフルエンザ軽快。
104	B07020496	8	年	女性	異常行動	2007/11/29 2007/11/30 2006/11/30	2007/11/29 22:00	○	Yes	5時間	-	Yes	解熱過程	No	No	-	No	No	No	2007/11/29(午後) 39℃の発熱、鼻汁、咳等の症状にて来院し、インフルエンザキ ットにてA型インフルエンザと診断。(17:00)1回目の本剤内服。その後寝ていた(22:00頃) 睡眠中に突然起き上がり、部屋のドアを開け「パパおかし」と言った。 2007/11/30(1:00頃) ふとんから起き上がり、ニヤニヤしていたため、母親が「大丈夫 か？」と声をかけたら「うん」と言った。(朝) いつも通りで、体温37.1℃。特に変化なし。 医学的処置をせずに自然軽快。
105	B07020966	8	年		異常行動	2007/12/11 夕	2007/12/12 1:00頃	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2007/12/11 診察時にも尿の分からないことを言っていた。 夕方に本剤を1回服用後、夜中1時頃に走り出した。 その時に親が押さえて、止められた。
106	B07021970	8	年	女性	異常行動 幻覚	2007/12/11 朝	2007/12/11 (午前)	○	Yes	1時間	-	-	解熱過程	-	-	-	-	-	No	2007/12/10 姉がインフルエンザA型加療中のごとく、起床時37.6℃発熱ありのごと で、午前9時過ぎ来院。迅速検査で陽性だったが、臨床所見よりインフルエンザを疑 う。 以前、本剤内服歴あり。家人が希望したため、本剤処方。終日発熱は37℃台で、本剤 は内服させなかったこと。併用薬のみ内服。 2007/12/11 起床時、40℃にて本剤内服。併用薬も内服。その後入眠。1時間後、「姉 が暴れて寝られない」と泣きながら自室より出てくる(姉は登校後)。家人が落ち着くよう 諭し、すぐ落ち着く。電話連絡あり、本剤の内服中止を指示する。 2007/12/12 電話にて、以後の異常行動のないことを確認する。
107	B08004441	8	年	男性	異常行動	2007/3/15 2007/3/16	2007/3/16 深夜	○	Yes	-	-	Yes	発熱持続	No	-	-	不明	No	-	2007/03/15 インフルエンザA型と診断。本剤服用開始。 深夜突然起き上がり、意味不明の言動あり。夜に頭をぶつけたりしていた。更に夜中 起き上がり、1人でどこかに行こうとしていた。母が気がつき布団の中に入れたらずくに 眠った。 2007/03/16 本剤服用したが異常行動は見られず。3/15時点で回復と判断。
108	B08024687	8	年	女性	異常行動	2008/12/6 昼	2008/12/6 -	○	Yes	-	-	Yes	-	No	No	No	No	No	No	2008/12/06 異常行動(医師重篤度：非重篤)発現。昼に本剤を服用後に寝ていた患者がふらふら と立ち上がり部屋の外に出たところを患者が発見。母親に連絡しベッドに連れ戻す。 寝かした後は特別なことはない。特に叫んだりといった行動は伴わなかった。 異常行動の転帰：回復
109	B08027726	8	年	男性	異常行動	2009/1/17~ 2009/1/21	2009/1/18 12:00	×	-	-	12時間	Yes	発熱持続	No	No	No	-	-	-	2009/01/17 インフルエンザ治療のため本剤50mg×2回/日投与開始(～2009/01/21)。 2009/01/18 (12時)異常行動(医師重篤度：非重篤)発現。昼頃より室内をうろついたり、人がい ない「ぞうきんでふいてふいて」などの異常言動。幻覚があり、体温計でふとんをたいた り、電氣コードをぐるぐる回すと手にまきつけたりした。 (24:00)異常行動の転帰：回復
110	B08027896	8	年	女性	異常行動	2009/1/20 10:00	2008/1/20 15:00	○	Yes	-	3分	Yes	解熱過程	-	-	-	-	-	-	2009/01/20 (10:00)本剤1回目内服。 (15:00頃)異常行動(医師重篤度：非重篤)発現。昼寝をしながら突然目をさまし少し 笑って「今日は何日だっけ？」と言ってとなりこいた弟をみて、恐がって骨があると泣 く。その後かけ出してリビングルームに行き、幼稚園がどうのこうのと言った意味不明のこと を言い、目つきがおかしかった(三白眼等)。その後物をつかむような動作を反復し、何 をしているのかと聞くと、本人は骨を拾っていると言って「何でそんなこと聞くの？」と泣 いた。その後泣き止んでソファに坐りいつもの変わらない様子になった(この間2～3 分の経過のこと)。
111	B08029997	8	年	男性	異常行動	2009/1/29~ 2009/1/31	2009/1/29 2009/1/30 昼 午前4時	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2009/01/29 (昼)本剤服用(一回目)。 (一時間後)異常行動(医師重篤度：非重篤)発現。熱が39℃の状態で、怖いとうわごと を言い、急に笑いだした。 (22時)本剤服用(二回目)。 2009/01/30(午前)4時 (朝)4時、突然におきだした階段を降りようとして、抑えて落ち着いた。大声で笑ったり、異 常状態になった。 (朝)本剤服用(三回目)。その後、異常行動はおこななかった。 異常行動の転帰：回復
112	8008934	9	年	男性	異常行動	2007/2/2 2007/2/3	2007/2/3 20:30	×	No	-	1時間	Yes	解熱過程	No	No	No	No	No	-	2007/02/02 (17:00)発熱38.4℃。本剤(55mg×2/日)投与開始。 (20:30)父親のことを「じいじ」と言ったり、自分の名前と父親の名前を間違えたり、 「1+1」と答えたりした。その後部屋を出てトイレに行き、さかんに足をさすっていた。 呼びかけに対して不正確な対応(異常行動 非重篤)発現。 (21:30)異常行動 回復。 2007/02/03 (8:00)本剤2回目服用。 当院受診するも神経学的異常は見られなかった。本剤服用中止。

異常な行動が記録されている事例の追加調査結果

※：継続投与後に異常行動を含む精神神経症状を発生した事例
*：継続投与後に異常な行動を含む精神神経症状を発生しなかった事例

No	識別番号	年齢 数値	年齢 単位	性別	PT名称	タミフル 服用時刻	異常な行動発現時刻	就寝中か否 か (就寝中：○、 就寝中じゃない、×)	覚醒直 後に発現	就寝中の場 合、就寝時 刻から発現 までの時間	回復まで の時間	一眠りして 完全回復	体温	患者の記 憶	睡眠障害 等の既往	睡眠覚 醒症等の 家族歴	光に対 する反 応	他剤による 「異常な行 動」の副 作用	異常な行 動に 関する既往 歴	異常な行動 の具体的な詳細 (例：幻覚については具体的に何が見えたか？本人が幻覚を見たのか、 親が幻覚を見ていたかと言っているのか？)
113	B02002847	9	年	男性	譫妄	2002/2/26 12:00	2002/2/26 13:00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	投与開始前日 インフルエンザB型発症。 投与開始当日 10:00頃 当院にてインフルエンザ迅速検査でB型と診断される。12:00頃 タミフル75mg/日、ムコダイン、アストミンを内服。13:00頃 意味不明の発語や行動をとり始めた。この時発熱なし。15:00-16:00頃 回復し、正常状態となった。本人にこの時の記憶なし。以後、タミフルの内服は中止。ムコダイン、アストミンは投与継続(〜投与4日) 意味不明の発語や行動をとり始めた。この時の記憶なし。
114	B03005859	9	年	男性	①意識レベルの低下 ②無感情 ③異常行動	2003/3/14 2003/3/15 2003/3/16	2003/3/16	-	-	-	No	No	発熱中から 解熱後も持 続	-	No	-	No	No	No	2003/3/10 発熱、咳嗽、頭痛あり、A病院受診。上気道炎と診断され、プロモックス、 ダーゼンを処方された。 2003/3/14 発熱持続し、同院再診。インフルエンザ迅速キットでは陰性。臨床的にイ ンフルエンザと診断し、タミフル150mg及びフルタゾール処方。 2003/3/16 返答しない、活動性低下などの変化を認めた。タミフルはこの頃服用中 止。 2003/3/17 同院再診。ソルデム1点滴中、突然意味不明の発言や行動が見られた。 2003/3/18 同様の症状あり、他院紹介となる。小児科入院の上、頭部CT、髄液検 査、脳波施行するも明らかな異常認めず。上気道炎に対する治療のみを行い経過観 察したが、同日も異常行動あり、活気乏しかった。 2003/3/20 徐々に活気改善。異常行動も認めず。 2003/3/21 退院。 2003/3/25 外来受診時特に異常なし。
115	B05000151	9	年	男性	①幻覚 ②不穏	2005/3/7 2005/3/7	2005/3/7 23:00	-	No	-	3.5時間	Yes	解熱過程	-	-	-	-	Yes	有	2005/3/6 インフルエンザB型感染発症。 2005/3/7 インフルエンザB型と診断。(11:00)タミフル服用。(21:00)タミフル服用。 (23:00)「おかし」「ふとんをかぶると肌がムコム二する」歩き回り、パニック状態とな る。「砂がみえる」「窓に老人がみえる」 2005/03/08(2:30)自宅から他院へ救急車で搬送。受診時は意識清明。体温 38.6℃。本剤投与中止。(3:00)回復、当院小児科外来再受診。37.8℃、意識清明。理 学所見上の異常は認めない。本日より薬剤内服すべて中止。 2005/3/11 わずかの無症状のみで略治癒。
116	B05021185	9	年	女性	譫妄	2005/12/15	2005/12/15 20:30、23:00	○	Yes	-	30分	Yes	解熱過程	No	No	No	-	No	無	(20:30)覚醒し、意味不明なことを話し始め、部屋の中を走り回り出した(その時のこと は本人は覚えていない)。発熱なし。せん妄状態持続時間:15〜30分母親が抱きかか えたと回復。(23:00)落ち着き入眠するが、再度眠りわかない言葉が発現し、再度母 親が抱きかかえたと回復。せん妄状態持続時間:15〜30分
117	B05024835	9	年	男性	①譫妄 ②凝固第四因子量 減少	2006/02/06	2006/02/06 14:15 17:15 21:51 2:25 3:33 4:12 6:00 2006/02/08 0:21	○ × ○ ○ ○ ○ ○	No	-	10分	Yes	発熱持続	No	-	-	-	No	熱性痙攣	2006/2/5 (夕方)発熱あり。 2006/2/6 (10:00頃)当科初診。インフルエンザA型と診断。熱性痙攣の既往有り。本剤 を処方。(帰宅後12:15)タミフル50mg1回分を内服し、居間で寝た。(14:15)突然起き上り がり、ベットポルをさしたしたら、一口口にし、私いのけ、両手をさし上げ「こわいこわい」 と言って騒ぎ出した。立ち上がり、走り出そうな感じがあり、大人4人で押さえた。 せん妄発現。10分ほど落ち着いたが、その後当科再来。(15:00)再受診には意識清明 となったが、室のため入院した。以降、せん妄発現で就寝せず。(17:15)風呂にかけて も会話が出来ない。せん妄発現。(21:51)変な事を言う。連絡が合わず会話が不成 立。手足をばたばたさせる。尿失禁。せん妄発現。CT実施。異常なし。臨床検査値上、 フィブリノゲン265、FDP1.9、D-ダイマー-0.3、PIVKA-II 31mAU/μL、凝固系第Ⅲ因子 99%、第Ⅶ因子65%、第Ⅷ因子92%第Ⅷ因子の減少を認めた。時刻は不明であるが、 就寝。 2006/2/7 (12:25)急に座になる。口をちゅちゅさせる。「うーん、うーん」と言い、目 は開けているが視線を合わせない。立ち上がりが足元からふらつく。ホータムトレで用 をたし、「こわい、こわい」「はすかしい、はすかしい」と言う。せん妄発現。(1:33)左の口 角をつり上げ開眼して「うーん、うーん」と言う。せん妄発現。(4:12)急に起き上がり、話 しかけてもまったく無視。尿失禁。せん妄発現。(6:00)急に起き上がり、言葉が普通でな い。ホータムトレにて便をする。せん妄発現。(正午過ぎ)体温37.0℃台となる。本剤 中止し、シスダイナ250mg×3回/日、ヒベンズ随時ペビジン20mg×3回/日へ変更し投 与開始(〜2/13)。MRI実施。異常なし。時刻は不明であるが、就寝。 2006/2/8 (0:21)排尿する時に2分くらい「ぼー」としていた。計7回せん妄発現した が、いずれも自然軽快した。 1回当たりの持続時間:2〜10分間。体温36.0℃台。脳波検査実施:異常なし 2006/2/9 正午頃より、再び発熱し、39.4℃まで上昇。 2006/2/10 完全に解熱。 2006/2/11 インフルエンザ回復。(11:00)せん妄回復し、退院。第Ⅶ因子の減少回復。 1週間後、ペプチドなども回復していることより、一過性の減少と推察される。
118	B05024837	9	年	男性	幻覚	2006/2/4	①11:30 ②21:00	-	-	-	5-6分	Yes	発熱持続	No	No	No	-	Yes	無	2006/2/4 (9:30)発熱:38.8℃、頭痛、倦怠感を認める。インフルエンザA型と診断。 (10:30)タミフル(49.5mg)服用し部屋で安静臥床させた後母親が買入物に外出。(11:30) 患児が玄関から外出しているのを見出し、自宅内に連れ戻したが室内を奇声を発しな がらグルグル回る。ガラス戸をたたき症状が10分間近みられた。発熱、発汗症状もみ られたので着替させて患児の兄が声をかけたら症状がスッと消失し普通に寝る。 (21:00)タミフル2回自服用(49.5mg)。(22:00)「ウーウー」と奇声を発し起き上がりうろた えた。5分間位で症状は消失。 2006/2/6 インフルエンザ軽快・回復。
119	B05025584	9	年	女性	異常行動	2006/1/26	昼前	-	No	-	30分	-	発熱持続	-	No	No	No	No	無	2006/1/26 発熱、咳嗽を主訴に来院。インフルエンザA型と診断。タミフルドリンロッ プ1.8g×2回/日処方。昼前、本剤内服。(15:00頃)体温39.0℃。(約4時間後)部屋の中 を急にウロウロ歩き回るという異常行動発現。その後、安静にて落ち着き就寝できた。 同日再診し、経過観察を要認。本剤投与中止。水分補給、安静を指示した。 2006/1/27 (午前)異常行動回復。インフルエンザも回復。
120	B06025100	9	年	男性	異常行動	2007/2/2	夜	○	-	-	8時間	No	発熱持続	-	No	No	No	No	無	2007/2/2 当院来院。39℃の発熱、頭痛を訴える。(夜)インフルエンザ(+)の為、タミフ ル30mg×1/回投与。(深夜)入眠中の異常行動発現(非重篤)。起き上がりうろたたり、意 味不明な話をしてくる。本人は覚えていない。その後、本剤は処方せず。他院救急外 来受診。入院。リレンザ服用(特に問題なし)。

異常な行動が記録されている事例の追加調査結果

※：継続投与後に異常行動を含む精神神経系症状を発現した事例
*：継続投与後に異常行動を含む精神神経系症状を発現しなかった事例

No	識別番号	年齢 数値	年齢 単位	性別	PT名称	タミフル 服用時刻	異常な行動発現時刻	就寝中か否 か (就寝中：○、 就寝中じゃない、×)	覚醒 後に発現	就寝中の場 合、就寝時 刻から発現 までの時間	回復まで の時間	一眠りして 完全回復	体温	患者の記 憶	睡眠覚 醒等の 既往	睡眠覚 醒等の 家族歴	光に 対する 反応	他剤に よる 「異常 な行 動」の 副作 用歴	異常な 行動 に 関 する 既往 歴	異常な行動の 具体的な詳細 (例：幻覚については具体的に何が見えたか？本人が幻覚を見たのか、 親が幻覚を見ていたかどうかと言っているのか？)	
121	B07000097	9	年	男性	幻覚	2007/3/25 6:00 17:00	2007/3/25 24:00	○	Yes	2時間	約8時間	No	解熱過程	-	No	No	No	No	無	2007/3/25 (5:00)発熱38.8°Cあり。咳あり、(7:00)キットにてインフルエンザA型と判断。タミフル1/2cap(37.5mg)内服。タミフル投与方法：カプセル内のパウダーをムコダインと混合し1/2量内服した(1回分)。(17:00)タミフル1/2cap(37.5mg)内服。38.4°C。(21:00)就寝。(23:00)突然起き上がり黒いものが降ってくるから逃げると言い出し、部屋から飛び出ようとする。幻覚発現。 2007/3/26 (0:00)水分摂取させず着かせるが、1時間の間に数回起き上がり逃げようとする。37.9°C。(1:00)再度起き上がり大丈夫だと訴えるも、黒い大きなものが屋根に落ちてくる。襲ってくるから外に出ないといけない、逃げないといけないと再度外へ飛び出そうとするところを制止し寝かせた。その後数回、合計数十回同様の行動があった。(7:00)頭痛消失し就寝した。(10:00)覚醒し、夢であったと自覚。異常行動については記憶がないと。36.8°C。(11:00)解熱し落ち着いており、ほぼ正常化した。幻覚回復。 2007/3/28 インフルエンザ軽快・回復。	
122	B07000198	9	年	男性	譫妄	2007/3/11 20:30	2007/3/11 21:00	○	-	30分	3時間	No	-	-	-	-	-	-	不明	2007/3/11 (19:00)38.8°C。(20:30)タミフル60mg内服し就寝。(21:00)頃その後、突然覚醒し「手に怪獣がいる」と発言。再び入眠したが、次に目を覚ました時「行かないや」と言って玄関に向かって行った。 2007/3/12 (0:00)救急車を要請し、救急車が到着した頃はほぼ普通にもどっていた。37.3°C。(0:25)自家用車にて来院。来院時意識清明。	
123	B07000262	9	年	女性	異常行動	2007/3/30 12:30	2007/3/30 13:00	○	Yes	30分	5分	Yes	-	No	No	-	No	No	無	3月30日 12:30近医でインフルエンザB型と診断。自宅でタミフルを内服。その後入眠。 13:00「ワウ」という声に気づき、ベランダの方へ走るのが見えた。力ずくで止めようとするが、「行く」と叫びながらベランダを目指す。向とカトレイに連れられ「出て行け」と叫びながら「イレットペーパー」を投げたりした。その間、目がすわったような顔をしていた。5分くらいで意識を取り戻したように、普通の会話ができるようになった。近医で受診後、搬送された。16:00 搬送時、意識は清明。	
124	B07012129	9	年	男性	異常行動 幻視	2007/4/19 2007/4/19	朝 夕 ①2007/4/20 ②2007/4/20	①Yes ②No	Yes/No	-	-	-	-	①発熱持 続 ②解熱過 程	Yes	No	No	No	No	無	2007/2/19 インフルエンザA型と診断。 2007/4/20 (7:00)突然ワーと発声しながら部屋の中を走り回る。包丁を持った男の人が追いかけてくるという幻視。意識清明で、後この時の記憶あり。(11:00)祖母が買い物から戻ると、庭の隅でかかっている。上記と同様の幻視で隠れていたとのこと。(13:00)他院に緊急入院(本剤内服を中止)。その後、幻視、異常行動はなし。 2007/4/23 インフルエンザ回復。
125	B07013252	9	年	男性	異常行動	2007/3/9 2007/3/10 2007/3/11 2007/3/11 2007/3/12	2007/3/9	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2007/3/9 本剤投与開始。異常行動が発現。服用約3時間後に、窓を開け飛び出そうとした。家人がためたので事なきを得た。患者に「どうしたの？」と聞くと、「魚釣りに行く」と答えた。 2007/3/10 異常行動は回復。本剤投与継続(～3月12日)。この間、異常行動は認められなかった。	
126	B07013257	9	年	女性	異常行動	2007/3/30 夕	2007/3/30	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2007/3/30 インフルエンザに対して、本剤42.45mg内服。異常行動発現(非重篤)。後でいたが30分ほど起きて外へ飛び出そうとした。一旦落ち着いたら、再びバジャマをビロビロに破るくらい暴れたため、病院へ搬送。その後、すぐに他の病院に搬送された(経緯は不明)。体力を消耗した様子ではあったが、その後回復。	
127	B07013259	9	年	女性	激越	2007/2/27 2007/2/27 2007/2/28 2007/3/1 2007/3/1 2007/3/2 2007/3/2	2007/2/27 20:00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2007/2/27 インフルエンザA型の診断で、鼠に本剤服用。夕方、19時に本剤2回目服用。このときの体温39.5°C。横になってテレビを見ていて服用から1時間が経過したころ、「怖い」と言って部屋を飛び出し、父親がやっと抑えることができた。3分で落ち着いたら、その後本剤服用を継続(～3月2日)するも問題なし。 2007/3/2 異常行動は回復。	
128	B07013313	9	年	男性	異常行動	2007/3/17 2007/3/18 2007/3/19	2007/3/17 20:00	○	-	1時間	-	Yes	発熱持 続	No	No	No	-	No	無	2003/3/17 (10:00)倦怠感、発熱38.6°Cにて来院。インフルエンザA型と診断。本剤75mgの投与を開始(なお、パンダールはインフルエンザ検査を外注していたために処方)。(19:00)夕方で寝ていた。(20:00)突然に暑い寒い騒いで窓を開けて雪の降る外に飛び出した。母親が怖るようになって、なかなか帰って来ず外でぼーっとしていた。母親はふざけていると思い叱った。「寒いから窓を開めよ」と言ったら、とぼとぼ帰ってきた。しばらくして就寝した。 2003/3/18 翌朝に前夜のことを覚えていなかった。(8:00)本剤75mg服用。継続したものの異常は認められなかった。 2003/3/19 (8:00)本剤75mg服用。 2003/3/20 (10:00)体温37.1°C	
129	B07013329	9	年	女性	異常行動	2007/2/27 2007/2/27	2007/2/27 23:30	○	-	2:30	3:30	No	-	No	No	No	No	No	無	2007/2/27 キットを実施したが陰性、臨床診断(39°Cの発熱)で、インフルエンザと判断し本剤処方。(朝)本剤投与開始。(14:50×2日)。(20:30)夕食後、本剤45mg2回目服用。就寝後、23時30分頃、急に目を開いて立ち上がる。母親は横で寝ていた。そして「リカはここにはいられない、外に行かない」と言って玄関から外に出ようとしたが母親が抱きかかえて止め、再び寝た。異常行動(非重篤)発現。(1～2時間後)また起き上がり「学校に行かないや」と言って窓のカーテンを開けた。再び母親が抱きかかえ止め、そして寝た。(更に1時間後)再び起き上がり「学校に行く」と言って起き上がった。然し38.5°C。母親はニュースを見て、本剤の副作用を知っていたので次の日は服用させなかった。 2007/2/28 (9:00)異常行動回復。 2007/3/1 インフルエンザ軽快・回復。	
130	B07013330	9	年	男性	異常行動	2007/3/12 夕	2007/3/13 2:30	○	-	-	-	Yes	発熱持 続	No	No	No	No	No	無	2007/3/12 インフルエンザA型治療のため、本剤投与開始。(30mg/日) 2007/3/13 (2:30)突然一人で起きだして、玄関から外に出て、1メートル以上の欄を乗り越えて外に走り出した。異常行動(非重篤)発現。異常行動回復。本人は全く覚えていない。	

異常な行動が記録されている事例の追加調査結果

※：継続投与後に異常行動を含む精神神経系症状を発現した事例
*：継続投与後に異常な行動を含む精神神経症候を発現しなかった事例

No	識別番号	年齢 数値	年齢 単位	性別	PT名称	タミフル 服用時刻	異常な行動発現時刻	就寝中か否 か (就寝中：○、 就寝中じゃない、×)	覚醒直 後に発現	就寝中の場 合、就寝時 刻から発現 までの時間	回復まで の時間	一眠りして 完全回復	体温	患者の記憶	睡眠覚醒症 等の既往	睡眠覚醒症 等の家族 歴	光に対する 反応	他剤による 「異常な行 動」の副作 用歴	異常な行動 に関する既往 歴	異常な行動の 具体的な詳細 (例：幻覚については具体的に何が見えたか？本人が幻覚を見たのか、 親が幻覚を見ていたかどうか？)	
131	B07013375	9	年	男性	記憶障害 異常行動	2007/3/28	夕方	2007/3/28	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	無	2007/3/27 発熱(38°C)咳嗽、鼻水、食欲減少。 2007/3/28 (午前)本院来院、インフルエンザ簡易キットにてインフルエンザA型診 断。(夕方)回目の本剤75mg服用。服用後数時間後、自宅療養中家族の家族 が見付ける。記憶障害(非重篤)発現。(夜間)奇声を発する。異常行動、奇声(非重篤)発 現。 2007/3/29 回復した。回復後、本人へ、前日夕方よりの行動について記憶がなかった とコメントした。 本剤は1回のみ75mg服用し、その後は中止。	
132	B07013396	9	年	女性	異常行動	2007/2/5 2007/2/5 2007/2/6 2007/2/6 2007/2/7 2007/2/7 2007/2/8 2007/2/8 2007/2/9 2007/2/9	12:00過ぎ 夕 朝 夕 朝 夕 朝 夕 朝 夕	2007/2/5	14:00	×	-	-	-	-	-	-	-	-	無	2007/2/5 (12:00過ぎ)インフルエンザA型治療のため、本剤64mg×2/日投与開始。発 症時自覚所見：発熱38°C(07/2/4)、咳、消化器症状(嘔吐、下痢)。(14:00頃)本剤初 服用後、2時間くらいして、目つきが変わって、しきりに外に出ようとして、何か訳の わからないことを言ったりした。多量の発汗があった。異常行動(非重篤)発現。 2007/2/6 異常行動回復。 2007/2/7 (~2/9)残りの本剤をすべて服用するも同様の症状の出現なし。	
133	B07015225	9	年	男性	睡眠時驚愕	2007/2/26 2007/2/26	発現日前日の 夕方と他に1回	2007/2/27	5:00	○	Yes	-	数時間	No	解熱過程	No	-	-	-	No	2007/02/26 インフルエンザB型治療のため、本剤投与開始。(75mg×2/日) 2007/02/27 (5:00)起床時、突然意味不明の事を出し出し、階下より3Fまで走って上 り、悪夢に怯えるような状態が30分~1時間持続。夜驚(睡眠時驚愕)発現。回復。こ の時発汗(非重篤)や顔面紅潮(非重篤)発症していた。この時の事を本人は記憶して おらず、救急車で小児科受診し、受診時の事は憶えている。 2007/03/02 (19:00)夕方から眠っていたところ、衝動的に覚醒、まとまりない言語が 小児科受診。夜驚(睡眠時驚愕)発現。(21:00)突然「怖い」と言い出すも、父 に抱かれ5分で落ち着く。 2007/03/05 同上のエピソードが短時間有り。(1:30)睡眠中、中途覚醒し「怖い」と訴 え、「悪夢をみた」と自覚。悪夢(非重篤)発現。 2007/03/06、07、11、12、14、15、17 同上のエピソードが短時間有り。悪夢、夢を伴う事多し。 2007/03/27 この日を最後に夜驚(睡眠時驚愕)・悪夢は見られなくなった。軽 快。 2007/04/08 発汗・顔面紅潮、軽快。 2007/05/25 上記各所見、診察時には軽快している事を確認した。
134	B07023327	9	年	女性	異常行動	2007/10/15 2007/10/15 2007/10/16 2007/10/16 2007/10/17 2007/10/17 2007/10/18 2007/10/18	午前 午後 午前 午後 午前 午後 午前 午後	2008/1/15 2008/1/16	-	- ○	-	-	-	Yes	不明	No	No	No	-	No	2008/01/15 (朝)来院し、インフルエンザA判定。本剤39mg×2/日処方。(午 前)39.5°C。帰宅後本剤服用し、2階にて就寝(昼寝)していたが、母親が気がついたと きは1階をうろろろしていた(急に2Fから1Fに降りた)。母親がどうしてうろろろしている のか平然と尋ねると黙ったように、階に降りた記憶が無いとの事。この時点では 本剤服用中止せず。寝ているときも発音が多く天井に向かい両手を盛んに動かしていた。 異常行動(非重篤)発現。 2008/01/16 就寝中寝言や、手を払いのける行動あり。再診時は異常な様子は見ら れなかった。 2008/01/18 (午前)36.8°C。異常行動(非重篤)回復。インフルエンザ軽快。 2008/01/19 本剤投与終了。
135	B07023858	9	年	女性	異常行動	2008/1/26 2008/1/26 2008/1/27 2008/1/27 2008/1/28 2008/1/28 2008/1/29 2008/1/29 2008/1/30 2008/1/30	17:00 21:00 8:00 19:00	2008/1/26 2008/1/27	20:50 15:00	-	-	-	5分 3分	Yes	発熱持続中	No	Yes	No	No	睡眠時驚愕症	2008/01/26 (17:00頃)インフルエンザ治療のため、本剤(69mg×2/日)服用開始。(20: 50)寝ていると家族に気づいたが就寝中急に起き上がり、部屋の中央をぐるぐる回っ たり、意味不明なことをぶつぶつ言ったりしていた。異常行動(非重篤)発現。発熱 40°C。(20:55)症状回復。(21:00)本剤内服。 2008/01/27 (15:00)再度徘徊。一人言などあり。異常行動(非重篤)発現。発熱39°C。 (15:03)症状回復。前日と同様であったが、持続が短かった。 2008/01/29 (9:00頃)患児母親より電話にて報告あり。その後はおかしな行動は見ら れなかつた。発熱36°C。 2008/01/30 本剤投与終了。
136	B07026154	9	年	男性	異常行動	2008/2/3	19:30	2008/2/3	22:30	○	Yes	2時間	30分	Yes	-	-	-	-	-	No	2008/02/03 (19:30)A型インフルエンザの診断にて、本剤57mg内服。(20:30)就寝。 (22:30)突然異様な目つきで階段を駆け上がった。(23:00)親が取り返さず眠りについ た。その後 異常行動回復。
137	B08001747	9	年	男性	異常行動	2008/1/24 2008/1/25	1日2回	2008/1/25	22:30	-	-	-	-	-	発熱持続	-	-	-	-	-	2008/01/24 インフルエンザA型およびB型同時感染のため、本剤服用開始(51mg×2回/日)(~ 1/25) (18:45)体温:38.0°C。 (22:30)本剤、他併用薬内服。 2008/01/25 (22:30)患者本人が母親の寝床の枕のところで泣きながらあやまっているのを見て、弟 が階下にいる母親に知らせに行った。本人も一緒に階下に降りて、おひえて母親に抱 きつき、あたりを見まわしたり、「こわいよ、ごめんねさ。死にたい」と不穏であった が、一旦鎮んになっていた。異常行動発現。 2008/01/26 (0:30)起き上がり「トイレに行きたい」と言ったが、トイレに行かないでテレビの前に座っ てうらぎられた。うらぎられたとおひえて震えていた。死にたい、こわい等を言う。これ 等不穏状態を繰り返し、1時間くらい経って寝た。この間目つきが異常で力が強い。 以後本剤中止。異常行動回復。

異常な行動が記録されている事例の追加調査結果

※：継続投与後に異常行動を含む精神神経系症状を発現した事例
 *：継続投与後に異常な行動を含む精神神経症候を発現しなかった事例

No	識別番号	年齢 数値	年齢 単位	性別	PT名称	タミフル 服用時刻	異常な行動発現時刻	就寝中か否 か (就寝中：○、 就寝中じゃない、×)	覚醒直 後に発現	就寝中の場 合、就寝時 刻から発現 までの時間	回復まで の時間	一眠りして 完全回復	体温	患者の記 憶	睡眠覚醒 等の既往	睡眠覚 醒等の 家族歴	光に 対する 反応	他剤に よる 「異常な 行動」 の副作 用歴	異常な行 動に 関する 既往 歴	異常な行動 の具体的な詳細 (例：幻覚については具体的に何が見えたか？本人が幻覚を見たのか、 親が幻覚を見ていたかどうかと言っているのか？)	
138	B08028295	9	年	男性	異常行動	2009/1/26 12:00	2009/1/26 14:00	×	-	-	-	-	発熱持続	-	-	-	-	-	-	2009/01/26 (朝) 本院受診。インフルエンザ確定診断実施。結果：A型インフルエンザ。本剤33mg×2回/日、トミロン100mg、ムコダイン250mg、ペリアクチン、ピオフェルミンR処方。 (12:00) 本剤、トミロン、ムコダイン、ペリアクチン、ピオフェルミンR服用。 (14:00) 異常行動発現。急に動きまわる。会話が合わない。数分で回復し、普通の会話をし入眠。再び自覚の同じような異常行動を3回繰り返す。 (16:50) 母親よりつたえがある(電話)。異常行動をくり返しているため、入院を勧める。 (18:00頃) 他院に入院。リレンザをすく吸入。 (夜) 再びリレンザ吸入。 2009/01/27 朝 0時すぎ深夜 (0時すぎ深夜) 高熱40℃続き、ベッドの上で寝ていたが、急に起き上がり、変な手の動きをするなど、異常行動を数回繰り返すが、ベッドから下りて歩き回るようなことはなかった。熱さまし(薬剤不明)を服用。 (朝) 7℃代後半となった。しかし朝起きた時、母親の顔が分からないことがあり、その後もボーとすることも数回あった。 2009/01/28 解熱、異常行動なし。リレンザ、トミロン、ムコダイン、ペリアクチン、ピオフェルミンは継続投与。 2004/02/02 インフルエンザA型と診断。(12:00頃) 昼食後、本剤(75mg/日)等内服し、解熱剤を服用し就寝。 2004/02/02 (15:00頃) 意識障害→ベランダから(マンション6F) 飛び降りる。外傷等により他院救命センターへ搬送される。	
139	B04008522	10	年	男性	意識変容状態	2004/2/2 12:00	2004/2/2 15:00	○	Yes 1時間後	3 (救命センターに搬送)	-	-	発熱持続	No (ケガ認識)	No	No	-	No	無		
140	B05023468	10	年	男性	①熱性譫妄 ②異常行動	2006/1/19 12:30	2006/1/19 13:35	-	No	-	30分	Yes	発熱持続	-	-	-	-	-	無	2006/1/18 (14:00)38℃台の発熱、咳嗽出現。 2006/1/18 インフルエンザA型と診断。(12:30)タミフル投与開始(105mg/日)。(13:35)廊下を立上り「布団が敷いた」と言って布団を持ち上げた後、急に外に向かって走って出て行こうとした。異常行動発現。約30分持続。(14:00)当院受診。入院。入院後は異常行動出現せず。 2006/1/20 (9:00)解熱し普段と変わらない程に回復。本剤中止。異常行動回復。 2006/1/21 インフルエンザ回復。 2006/1/31 退院。	
141	B05024270	10	年	女性	①情動障害 ②通行行動	2006/01/27 1/28~1/29 1/30 夕朝・夕朝	2006/01/29 2006/2/3	-	-	-	No	No	解熱後	-	-	-	-	-	無	2006/1/26 インフルエンザA発症。夜、38.6℃の発熱。 2006/1/27 インフルエンザA型と診断。タミフル投与開始。1/27:タミフル(75mg/日) 1/28~1/29:朝夕(57mg×2/日) 1/30:朝(57mg/日) 2006/1/28 発熱、38℃台、咳嗽・咽頭痛はあったので内服薬継続。 2006/1/29 情緒障害、行動異常発現。機嫌が悪く、突然泣いたり、テレビを急に消したり、母親と手をつなぎたり「ママ」と呼ぶ。母の姿が見えないと探す。多動あり。問いかけに答えず、ボーとしている。車を怖がる。人混みを怖がる。眠っていることが多い。 2006/1/30 A医院受診し、本剤投与中止。咽頭痛および咳嗽のためクラリシッド、アストマリ、ムコダインを投与。(18:00)当院受診。母親の嚴重な管理を指導し、1~2日様子を見るよう伝え帰宅させた。 2006/1/31 A医院再診。インフルエンザ軽快。B病院紹介となる。外来にて頭部CT、血液検査施行。異常なし。本人の症状は軽快傾向にあるが、基本的には不変。 2006/2/1 経過観察のためC病院入院。MRI施行。異常なし。35.6℃。(12時頃) 2006/2/3 外泊へ。この頃より正常の状態と不安の強い状態が交互になる。 2006/2/6 外泊より帰院。軽快傾向にあるため退院とした。 2006/2/8 ほぼ正常の状態のみになる。 2006/2/10 外来受診。終診とした。(情緒障害、退行現象回復)	
142	B05024606	10	年	男性	異常行動	2006/01/16 ~1/17 朝・夕	2006/01/16 2006/01/17 1:00-1:15 11:00-12:00	○	Yes	5時間	10分	No	発熱持続	Yes	Yes	Yes 母	No	No	無	2006/1/16 インフルエンザA型と診断。朝、夕、タミフル内服。(20:00)就寝(～1:00)。夜間に「学校へ行く」というランドセルを背負い外出しようとした。異常行動発現。 2006/1/17 (11:00～12:00)悪夢を見て怖いという外出しようとして泣いた。朝、夕、タミフル内服。 2006/1/18 前日夕方まで内服し投与中止とした。 2006/1/20 中止後39℃以上の熱が下がりが症状回復。異常行動回復。	
143	B06010806	10	年	男性	①譫妄 ②異常行動	①2006/6/8 ②2006/6/9 ~6/12 ③2006/6/13 ①20:00 ②朝・夕 ③朝	①2006/6/8 ①24:00 ②夜間 ②2006/6/9	①○ ②○	No	①4hr ②-	1分	Yes	-	No	No	-	No	No	無	①6/8 24:00から6/9 1:00にかけて「天井が落ちて来る。たつまきが来る。お母さん怖い」と言って起き出した。側にいた母が「大丈夫だとだめたら落ちた。」 (朝)せん妄回復。本剤内服するも異常なし。 ②6/9夜本剤内服後、就寝。夜間に急に起き出して寝言(詳細不明)があった。 (6/10朝)せん妄回復。本剤内服するも異常なし。以降本剤内服するも症状再現なしとのこと。	
144	B07000166	10	年	女性	異常行動	2007/3/16 2007/3/17 夕方 8:00	2007/3/17 10:00	-	-	-	-	-	-	発熱持続	Yes	-	-	-	No	不明	2007/3/16 インフルエンザA型と確定診断。(夕方)タミフル75mg内服。症状なし。 2007/03/17 (8:00)本剤75mg内服。(10:00)体が熱い症状訴える。その後母親が目を見た際に一人で親を履き玄関を出ようとしていた。患部の熱が気付き止めた為、大事には至らなかった。本人は覚えていないとの事。症状が出たときは熱がまだ40℃ほどであった。その後母親が寝がしつめた。(12:00)睡眠より覚醒。意識清明。 母親が後で聞いてみると「体が熱く感じた」と、玄関でスニーカーを履こうとしたことなどは覚えていなかったと。本剤投与中止。
145	B07002856	10	年	男性	①幻覚 ②異常行動	2005/1/22 2005/2/28 不明	2005/2/28 服用2時間後	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	調査不可能	(服用2時間後)異常行動、幻覚発現(重篤度不明)。寝ていたが、突って起きだし廊下を走り出した。「どうしてかわからないが、変いくなったし、走りたくなった」と本人が説明
146	B07012021	10	年	男性	譫妄 意識変容状態	2006/1/31 不明	2006/1/31 23:00	○	Yes	-	-	Yes	-	No	No	-	-	-	無	2006/1/31 (23:00)夜中、トイレに起きたとき、興奮状態となり飛び出そうとした。母親の顔が分からなかった。 2006/2/01 意識清明となった。	

異常な行動が記録されている事例の追加調査結果

※：継続投与後に異常行動を含む精神神経系症状を発現した事例
*：継続投与後に異常な行動を含む精神神経症候を発現しなかった事例

No	識別番号	年齢 数値	年齢 単位	性別	PT名称	タミフル 服用時刻	異常な行動発現時刻	就寝中か否 か (就寝中：○、 就寝中じゃない、×)	覚醒後 後に発現	就寝中の場 合、就寝時 刻から発現 までの時間	回復まで の時間	一眠りして 完全回復	体温	患者の記 憶	睡眠覚醒 等の既往	睡眠覚 醒等の家 族歴	光に対 する反 応	他剤による 「異常な行 動」の副 作用	異常な行 動に 関する 既往 歴	異常な行動の 具体的な詳細 (例：幻覚については具体的に何が発じたか？本人が幻覚を見たのか、 親が幻覚を見ていたかどうか？)
147	B07012054	10	年	男性	異常行動	2007/3/20	朝	○	Yes	-	-	Yes	発熱持続	-	Yes	-	-	No	睡眠覚醒 睡眠時進行 症	2007/03/20 インフルエンザB型と診断所見、発熱38℃、頭痛、咳、鼻症状(鼻水、鼻 つまり、くしゃみ)、タミフルドラインシロップ80mg服用。(16:00)保護者が不在であったが、 最後に見たときは睡眠中だった。ポーと寝ていて不安になり、怖い人がきたと思って マンション7階のベランダから下をのぞき、その後、裸足で階下の友達の家に行き、そ こで保護された。 (17:00)来院時、体温38.4℃、意識清明。(23:00)睡眠中起きだして、「外へ出たい」と言 い、ベランダの方へ行き、カーテンを開けて出ようとした。家人が阻止すると、「星が見 たい。星が下にいる」と言って、玄関の方へ行って外へ出ようとする。20分くらいで落ち 着いてきたが、「しんとしていたら怖い」と言い、本を読んだり、テレビを見たりして、10 分くらいして眠った。
148	B07013136	10	年	男性	異常行動	2007/2/24 2007/2/24	昼 夜	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	無	2007/2/24 インフルエンザに対して、本剤57mg/回を投与開始。昼・夜に服用。 2007/2/25 (4:00)着接している眼鏡を階段において玄関から外に出ようとして、セコム が反応したため外へ飛び出すことはなかった。
149	B07013247	10	年	男性	異常行動	2007/5/1 2007/5/2	朝	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	無	2007/5/1 基礎疾患があるため入院にて本剤の投与を開始。 2007/5/2 朝、本剤2回目服用から15分後に突然病室から走り出しトイレに駆け込み 失禁した(この時点では解熱していた)。本剤の投与は中止。その後は正常となり退 院。
150	B07013255	10	年	男性	異常行動	2007/1/23 2007/1/23 2007/1/24 2007/1/24 2007/1/25 2007/1/25	午前 夕 夕 夕 夕 夕	○	-	-	-	Yes	発熱持続	-	No	No	No	No	無	2006/1/23 (午前)高熱のため受診。本剤、桂麻各半湯エス細粒他処方。インフル エンザ発症時体温:39℃。インフルエンザA型治療のため本剤投与開始。(60mg×2/日 ~1/25)。(午後)再度受診し、午前の桂麻各半湯の服用をやめるよう指示し、ナウゼリ ン、黄耆建中湯を処方。(夕刻)本剤服用。患者は一度睡眠に入るが、突然立ち上がり 家の中を飛び回る。上を指差しながら外に逃げたがる。両親は不在であったが、祖 父母が面倒を見ており、二人で外に出るのを止める。外に出ようとしながら意味のわ からないとせ口走り、大音量の中を飛び回り走り回ったりする。異常行動(非重篤) 発現。しばらくこの症状は続いたが、落ち着きと戻し、再び睡眠。 2007/1/24 熱はあるものの、前日のような異常な様子は認められない。 2006/1/25 体温:36.7℃ 熱が下がったと薬局に来られる。 2006/1/27 インフルエンザ軽快・回復。 2006 異常行動回復。
151	B07013386	10	年	女性	異常行動	2007/3/8 2007/3/9 2007/3/10	12:00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	無	2007/3/8 (12:00) インフルエンザで来院。本剤を処方され、帰宅し服用。(16:30) 突 然机下を覗き暴れて外へ飛び出した。母親が押え付け、何事にもならなかった。異常 行動は回復。
152	B07021901	10	年	女性	異常行動	2007/2/24 2007/2/24 2007/2/25 2007/2/25 2007/2/26 2007/2/26	朝 夕 夕 夕 夕 夕	×	Yes	-	-	-	発熱持続中	No	No	No	No	No	No	2007/02/25(9:00頃) 二階ベッドの上の段に寝ていたところ、急に起きてきてベランダ に走ってきて、母に「リカちゃんがかげから落ちたんじゃないか、どうなの？」と聞い た(母はベランダで洗濯物を干していた)。「リカちゃんは大丈夫だから」と納得させ たが、その時のことを本人が覚えていない。今までこのようなことはなかった。 2007/02/25(18:00頃) 夕食時、ベッドで寝ていた本人に食事を運んできたところ、起 きていたが寝の分らないはっさしなことを言う(身体内容を覚えていないが、普通 では言わない内容だったとのこと)。そのようなことはないと納得させたが、あとでそ うなことがあったことを説明したら本人は全く覚えていない。
153	B07027206	10	年	男性	異常行動	2007/12/23 2007/12/23	朝 夕	○	Yes	2時間45分	30分	Yes	発熱持続中	No	No	No	No	No	No	2007/12/23 (13:45)自宅にて処方薬(水薬、本剤、解熱剤)服用。その後就寝する。 2007/12/23 (16:30)急に起き上がり、二階寝室から一階玄関まで走って行き、外へ走り 出て行く。その際に「こんな家には住めない」と大声で叫んだりした(大きな音が自分 に向かって転がってくる幻覚があったとのこと)。 2007/12/23 (17:00)家族が静止し、その後就寝。 2007/12/23 (19:00)処方薬(本剤、その他)服用し、朝まで就寝。夜中に寝ぼけた状態 があったが、朝には正常であった。 2007/12/24 本剤の服用は中止し、様子を見る。発熱もあるも、異常行動はなし。 2007/12/25 インフルエンザも回復。
154	B08027575	10	年	男性	異常行動	2009/1/15	10:00	○	Yes	2時間	20分	Yes	解熱過速	No	No	No	No	No	-	2009/01/15 (10:00) 本剤内服、入眠する。 (12:00頃)異常行動 精神神経症状(医師重篤度、非重篤)発現。突然おき、何も言わ ずトイレに行く(いつもはトイレに行くと言う)、便座に座って笑ったり、意味不明のことを 言う。便が出て水を流した頃に意識戻るもその間の記憶なし。その間15~20分であ った。熱は高くなかった。(12:20頃)異常行動 精神神経症状の転帰・回復 当院に相談され、本剤中止し他の薬は継続。
155	B05023595	11	年	男性	①幻覚 ②異常行動	2006/1/23	17:30	×	No服用後 後戻 る前	-	1時間	No	-	-	-	-	-	No	無	2006/01/22 (15:00)発熱。 2006/01/23 (16:00)インフルエンザA型と診断。ナウゼリン、カロナール、タミフル4g(分 2)処方。(17:00)ナウゼリン、カロナール各1T内服。軽食摂取。(17:30)タミフル内服 (60mg/日)。(18:00頃)幻覚症状及び異常行動出現。怖がって逃げる。「お母さん」と 叫ぶ。「怖い、怖い」と叫ぶ。(19:00頃)救急。(19:00頃)当院電話連絡あり。 2006/01/26 (10:00)来院。インフルエンザ治癒。及び幻覚症状消失を確認。
156	B05024102	11	年	男性	異常行動	2006/2/10	夕方	-	Yes 覚醒はし ていない。 譫 妄状態。	-	1.5時間	-	発熱持続	No	Yes	No	No	No	無	2006/2/10 A医院にてインフルエンザA型と診断。高熱にて目が少しうつろ感や伴う全 身倦怠感の強い、タミフル2カプセルを処方(2回/日)。(夕方)タミフル75mg内服。 2006/2/11 (0:40)異常行動発現。団地2Fのおどり場より墜落。(1:30)当院救急搬送。 脳挫傷、頭蓋骨折、両大腿骨骨折。 2006/2/15 (13:30)大腿骨手術的にてC病院へ転院。転院時には異常行動回復。 不明 両大腿骨骨折に対して、転院後手術実施。 2006/5/31 退院。両大腿骨骨折は軽快。外来にてフォロー中。 睡眠から覚醒していたわけではなく、目は覚めていたが、せん妄状態とも考えられる。

異常な行動が記録されている事例の追加調査結果

※：継続投与後に異常行動を含む精神神経系症状を発現した事例
*：継続投与後に異常な行動を含む精神神経症候を発現しなかった事例

No	識別番号	年齢 数値	年齢 単位	性別	PT名称	タミフル 服用時刻	異常な行動発現時刻	就寝中か否 か (就寝中：○、 就寝中じゃない、×)	覚醒直 後に発現	就寝中の場 合、就寝時 刻から発現 までの時間	回復まで の時間	一眠りして 完全回復	体温	患者の記 憶	睡眠覚 醒等の既 往	睡眠覚 醒症等 の家族 歴	光に対 する反 応	他剤に よる「 異常な 行動」 の副作 用歴	異常な 行動 に 関 する 既 往 歴	異常な行動の 具体的な詳細 (例：幻覚については具体的に何が発現したか？本人が幻覚を見たのか、 親が幻覚を見ていたかどうか？)		
157	B06024935	11	年	男性	異常行動	2007/2/19 20:30	2007/2/20 6:30	○	Yes	10hr	5分	Yes	—	No	Yes	No	No	Yes	睡眠時驚 愕症等	2007/2/19 朝、妹がインフルエンザと診断されていたので、母親が同じインフルエンザだろうと思いきい妹に処方されたタミフル72mg×1/日を飲ませた。(21:00)夜、突然40℃台の発熱が起こった。 2007/2/20 (6:30)服用後約10時間経過した朝、就寝中突然起き上がり徘徊をはじめた。訳のわからない事をさびき走りだしたので、母親が制止しようとしたが、おさきせず父親を呼び2人がかりでおさき込んだ。(6:35)正気を取り戻した。(10:00)当院受診。インフルエンザA型と診断。インフルエンザA型治療の為、本剤72mg×1/日の投与開始。 2007/2/21 インフルエンザの転帰：回復		
158	B06025190	11	年	男性	①異常行動 ②幻聴	2007/2/18 2007/2/19	2007/2/19 ①午後 ②午後	①○ ②—	①Yes ②—	—	①10分 ②—	Yes	—	Yes	No	No	—	No	無	①ヤケザみたいなのが入ってきたと本人が訴えた。 ②トイレの窓より飛び出し自宅のまわりを裸足で走り、川の中まで入った。田んぼを徘徊、その後しばらく前橋に隠れていた。 ③逃げろという声が聞こえた、と本人が訴えた。		
159	B06026130	11	年	男性	①激越 ②異常行動	2007/02/10	21:00	2007/02/11	0:20	—	No	—	6時間	Yes	発熱持続	Yes	No	No	No	無	ウロウロ家の中を数回歩き回った。ウーと天井に向かって両手を突き上げ、手を握りしめた。 その後ガラス戸を足で叩いて、ガラスを割ってしまった。左足を切って、外科で縫合した。 2007/2/05 インフルエンザB型と診断。(18:00)タミフル75mg×1回/日投与開始。 2007/2/6 (8:00)タミフル75mg服用。(19:00)タミフル75mg服用3回目(夕食後)。(21:00)入眠。 2007/2/7 (2:00)異常行動発現。うわ言を言って起き上がり、トイレに行った後、「プププッソ言いながらベランダや玄関の数のドアを開け、外へ出ようとした。母親が必死に止めるが力づくで何度も同様の行動を繰り返したが、母親がその度全力で止めた。(4:00)症状がこの頃まで続いたが、その後入眠。(9:00)起床。熱が下がりはり何事もなかったように回復。目がさめたが、異常行動については、全く覚えていなかった。異常行動回復。	
160	B06026540	11	年	男性	異常行動	2007/2/5 2007/2/6 2007/2/6	18:00 8:00 19:00	2007/2/7	2:00	○	No	5	4時間	Yes	解熱過程	No	No	No	No	不明	2007/2/21 ボララミン2mg×3/日の投与開始(～3/24)。(タミフルインフルエンザA治療の為、タミフル75mg×1/日の投与開始。 2007/2/22 タミフル増量。(75mg×2/日 ～2/23) 2007/2/23 夜就寝 2007/2/24 (12:00)起床。タミフル75mg/日最終投与(起床がおそかったため朝)。(18:30)玄関から外に出ようとしているのに父が気づき、もう暗いので外出するのはやめなさいと言ったところ居間に戻った。特に異常さは感じなかったが、後から考えるとおかしな行動だった。(19:00)異常行動による転落発現(非重篤)。居間で父とTVをみていたが、ふと立ち上がり2階に行った。すぐにトーンと言ったので見てベランダの下の土の上について、ポーンとしていた。家に戻るようながして一階に入り、30分後に母もポーンとした感じではなくなった。意識ははっきりしていた。どうして落ちたのか聞いてもわからないと答えていた。外傷はごく軽い打ちみのみなので特に手当てはしなかった。	
161	B07000058	11	年	男性	異常行動	2007/2/21 2007/2/22 2007/2/22 2007/2/23 2007/2/24	夕 朝 夕 朝 夕	2007/2/24	19:00	×	No	—	30分	Yes	解熱過程	No	No	—	No	無	2005/2/17 (夕)インフルエンザA治療の為、タミフル投与開始(不明×1/日)。(夜)体温38.8℃ 2005/2/18 (5:00)体温38.8℃(午前)タミフル(投与量不明)内服。タミフル投与(不明×2/日～07/2/21) (15:00)異常行動あり。10分位。布団に座って「キッシュが卒業して」と言いながら泣いている。(重篤度不明) 就寝。異常行動(-)。 2005/2/19 インフルエンザの転帰：軽快。 2005/2/22 (朝)本剤投与(不明×1/日)。 2007/2/21 (朝)38℃の発熱。(夕)39℃。来院時37.4℃。B型インフルエンザと診断。本剤処方。(18:00)タミフル内服開始。(75mg×2/日 ～07/2/26) 2007/02/22 (1:00)急に起きてトイレにしばらくこもっていた。父親が引きずり出した。その後階段を昇ったり降りたりを繰り返す。しばらくして親が布団に寝かしたところ、布団で起き上がり、おかしなことを言う(他人と話している)。5分位続いた。母親に「第一子は男の子なの」「お母さんはマリーアントワネット」等と言う。少し斜視気味だが、いつもよりひどくなっていた。この時発熱なく37.0℃台だったことを確認している。夕方より(受診時)から熱はなかったこと。異常行動発現。インフルエンザの転帰：軽快。 2007/2/23 翌日、めざめてからは症状(-)。異常行動回復。 2007/2/26 本剤の服用終了。	
162	B07000111	11	年	男性	異常行動	2005/2/17 2005/2/18 2007/2/21 2007/2/22 2007/2/23 2007/2/24 2007/2/24 2007/2/25 2007/2/25 2007/2/26	時刻不明 18:00	2007/2/22	1:00	—	Yes ねほけ	—	15分	Yes	解熱過程	Yes	おつ のとき に症状+	母の父、母	—	No	無	2006/2/27 早朝、39℃の発熱、鼻汁、咽喉痛、頭痛を認め、午前中来院。インフルエンザA型と診断。本剤2cap/2分、ボララミン(2mg)錠、ムコダイン(250)錠、アストマリ3錠、カロナール(200)錠を処方。(13:00)38.7℃あり、上記薬剤を服用。(21:00)上記薬剤を服用。(21:30)就寝。(23:00)朝1階にいた家族の知らない間に、2階より厚巻き寝足のまま家を出て、近隣の家で保護されて、近隣の家で保護されて、すぐ家へ帰る。翌日まで就寝。落ちたのか飛び下りたのかは不明。本人は夢が怖くて窓のシャッターを開けベランダから外に出たといっているが、よく覚えていないとのことであった。何時かは不明であるが、その前の検温では38.7℃であった。 2006/2/28 朝、38.8℃あり、来院。来院時は元気もあり、意識も清明で特に異常所見は認めなかった。咽頭培養にて、A香港型(AH3)を分離している。 2006/3/1 (9:00)36.9℃。(17:00)36.6℃ 2006/3/7 インフルエンザ回復
163	B07000121	11	年	女性	異常行動	2007/2/27 2007/2/27	13:00 21:00	2007/2/27	23:00	—	—	1.5	1時間	Yes	発熱持続	No	Yes (軽いもの)	No	No	無	2006/2/27 早朝、39℃の発熱、鼻汁、咽喉痛、頭痛を認め、午前中来院。インフルエンザA型と診断。本剤2cap/2分、ボララミン(2mg)錠、ムコダイン(250)錠、アストマリ3錠、カロナール(200)錠を処方。(13:00)38.7℃あり、上記薬剤を服用。(21:00)上記薬剤を服用。(21:30)就寝。(23:00)朝1階にいた家族の知らない間に、2階より厚巻き寝足のまま家を出て、近隣の家で保護されて、近隣の家で保護されて、すぐ家へ帰る。翌日まで就寝。落ちたのか飛び下りたのかは不明。本人は夢が怖くて窓のシャッターを開けベランダから外に出たといっているが、よく覚えていないとのことであった。何時かは不明であるが、その前の検温では38.7℃であった。 2006/2/28 朝、38.8℃あり、来院。来院時は元気もあり、意識も清明で特に異常所見は認めなかった。咽頭培養にて、A香港型(AH3)を分離している。 2006/3/1 (9:00)36.9℃。(17:00)36.6℃ 2006/3/7 インフルエンザ回復	

異常な行動が記録されている事例の追加調査結果

※：継続投与後に異常行動を含む精神神経系症状を発現した事例
*：継続投与後に異常な行動を含む精神神経系症状を発現しなかった事例

No	識別番号	年齢 数値	年齢 単位	性別	PT名称	タミフル 服用時刻	異常な行動発現時刻	就寝中か否 か (就寝中：○、 就寝中じゃない、×)	覚醒直 後に発現	就寝中の場 合、就寝時 刻から発現 までの時間	回復まで の時間	一眠りして 完全回復	体温	患者の記性	睡眠覚醒症 等の既往	睡眠覚醒 症等の家 族歴	光に対する 反応	他剤による 異常な行 動の副作 用歴	異常な行動 に関する既往 歴	異常な行動の 具体的な詳細 (例：幻覚については具体的に何が 見えたか？本人が幻覚を見たのか、 親が幻覚を見ていたかどうか？)	
164	B07000131	11	年	女性	①激越 ②異常行動	①2007/3/4 ②2007/3/5	2007/3/5 19:00	×	No	—	3日間	No	解熱過程	Yes	No	No	—	No	激越	2007/3/1 けぞ症状あり、日中近医受診。クラリス、アズベリン、プルスマリン、ボルボ ノールDS、乳糖カルシウム、ラクビーを処方された。(夜頭痛あり) 2007/3/2 (朝)38.1℃。(日中)36℃台となるも、また発熱。 2007/3/3 (9:30)当院救急受診。咽頭発赤あり、インフルエンザ迅速でB陽性。本剤、 ムコダイン、メジコン散、カロナール処方。タミフル(32.5mg×2/日)内服(～3/5)。 2007/3/4 解熱傾向あり、興奮状態で家人が常にみていた。異常興奮(非重篤)発現 (発現時間不明)。インフルエンザ軽快。 2007/3/5 (15:00～18:00)昼寝。(19:00頃)自宅リビングのソファの背もたれに乗って、更 に立ち上がりそこから床に転落したが、顔を打撲したため口腔内を切って出血。近医 受診、処置してもらった。その帰宅途中に、ガードレールを乗り越えて走って来る車に 飛び込もうとしたため、祖母がガードレール越しに捕まえた。本人が制止を振り切ろう とするが、力が強かったために祖母は転倒し、顔面に擦過傷を負った。異常行動発 現。(23:00)就寝。 2007/3/6 異常興奮回復。 2007/3/7 異常行動回復。(3日間で回復) 2007/3/27 以上の経緯を聞いた。受傷直後は家人も疲れており、自宅安静にしてみ	
165	B07000163	11	年	男性	譫妄	2007/3/9 2007/3/9 2007/3/10	2007/3/9 14:00	—	Yes	—	10分	Yes	発熱持続	Yes	No	—	No	No	不明	2007/3/9 (11:00)本剤50mg×2回/日投与開始(～3/11)。(14:00)本剤服用3時間で階 段を駆け上がった。真っ黒な大きな物に追いかけられた。体を半分切り切られるよう な、痛い痛いと呼ぶ。本人はそれを感じている。せん妄発現。ふとんで押さえつけ、解熱剤 (坐剤)を入れ、10分後に睡眠。その後そのような発作はない。せん妄回復。(20:00)タミ フル内服。 2007/3/10 (6:00)タミフル内服。 2007/03/11 インフルエンザ軽快・回復。	
166	B07000260	11	年	女性	幻覚	2007/3/3	不明	2007/3/4	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	不明	不明 3年前から本剤を処方された場合に投与中に幻覚(重篤度不明、過去には、夜 に一人で外をふらつく)がみられた。 2007 インフルエンザ発症 2007/3/3 他院にてタミフル投与開始(75mg×2回/1日)。 2007/3/4 幻覚を見てドアにぶつかり顔に裂傷を負い当院形成外科を受診。 2007/3/10 回復。	
167	B07000274	11	年	男性	異常行動	2007/3/19 2007/3/19	2007/3/19 14:50～ 15:00 ②23:00～ 23:05	○	Yes	—	5～10分	Yes	発熱持続	Yes	No	No	No	No	無	①階段を半分まで上がり、母がかげつけると驚き泣く。1階へ連れ戻すと玄関を指しう んこ！と伝える。 ②掃除機のパースを外し、先端(T字型)部分に足を入れようとする。「入らないよ」と声 をかけると泣く。本体の穴にも足を入れようとする。妹が笑うと怒った様子。 本人の話：夢でマンションから飛び降り、痛み無く、起き上がり歩こうとして、現実に戻 る。自分の足を掃除機本体に入れようとしたが自分の体を止められず、その後記憶が 無くなった。 14:00にタミフル服用し、14:10に就寝。14:50覚醒し、異常行動発現(10 分間)。15:05～20:30再び就寝し、21:00に夕食をとる。22:00タミフル50mgを服用し(2/3 吐き、1/3飲む)。22:15～再び就寝したが、23:00に目を覚まし異常行動を発現(5分 間)。23:10再び就寝し、その後タミフルは服用なく異常行動もなし。	
168	B07003018	11	年	男性	異常行動	2007/3/19	夕	2007/3/19	—	Yes	—	10分	Yes	発熱持続	No	No	—	—	無	2007/03/19(夕)本剤62.5mg/回内服。(1時間後)突然睡眠から覚醒し、立ち上がり「宇 スト」と言って階段を登って、2階に上がった。外に出ようとした。「早く早く」と本人 はつぶやいていた。)制止して様子を見ると、笑う動作(普段あまり笑わない子がニヤリ と笑っていたのが不気味だった)の母親談。失見当識の状態が約5分程度続き、そ の後も家の中をふらふらとどこに向かうというわけではなくしてそう。服用は1回で 中止し、再び入眠(翌朝まで寝かせつけた)。 2007/03/20異常行動回復 本人に聞いたところ、昨日のことを覚えていなかった。	
169	B07003581	11	年	男性	異常行動	2007/3/12	13:00	2007/3/12	14:00～15:00	○	No	1～2時間	1時間後	Yes	発熱持続	No	—	—	無	2007/03/12(13:00頃)インフルエンザに對して、本剤63.9mg/日内服。 その後寝かせたが、1～2時間してから起きてきて母親の知らない友達の家に行き 行くと言出し、無理に外に出ようとした。母親がおかしいと思いついて寝かせつけた。そ の後はニコニコと笑っていて手足がピクピク動いていた。しばらくすると治まりその後 服用は中止。以後、異常行動はみられていない。本人も記憶にないとのこと。	
170	B07003786	11	年	男性	①異常行動 ②幻覚	2007/7/24 2007/7/24 2007/7/25 2007/7/25 2007/7/26 2007/7/26	朝 夕 朝夕 朝夕 朝夕	2005/2/25	午前中	—	No	—	10分	—	発熱持続	Yes	No	No	No	No	2007/02/24(インフルエンザ)と診断。本剤75mg×2回/日投与開始。 2007/02/25(午前)異常行動発現(非重篤)。2階で一人で臥床していた。その時はまだ 解熱していなかった。1階にいた母親が突然のもの音に気がついたとほぼ同時に大声 を出し、大変な顔で下りてきた。母親が抱きとめたが、約1分ほど興奮がつづ き、脅えていた。その後、反応が正常になり、臥床した。 2007/02/26その後も服薬をつづけたが、異常はなかった。記憶なし。 後日、母親が尋ねると、玄關(本人からは見えない)の外に大勢の人がいて、がやがや としゃべっていた。このため、とても怖かったのだと供述した(もちろん、そのような事実は なかった)。現在、その記憶はあるものの、本人に異常はない。

異常な行動が記録されている事例の追加調査結果

※：継続投与後に異常行動を含む精神神経系症状を発現した事例
*：継続投与後に異常な行動を含む精神神経症候を発現しなかった事例

No	識別番号	年齢 数値	年齢 単位	性別	PT名称	タミフル 服用時刻	異常な行動発現時刻	就寝中か否 か (就寝中：○、 就寝中じゃない、 ×)	覚醒後 後に発現	就寝中の場 合、就寝時 刻から発現 までの時間	回復まで の時間	一眠りして 完全回復	体温	患者の記 憶	睡眠覚醒 等の既往	睡眠覚 醒等の 家族歴	光に対 する反 応	他剤に よる 「異常な 行動」 の副 作用	異常な 行動 に 関 する 既往 歴	異常な行動の 具体的な詳細 (例：幻覚については具体的に何が 見えたか？本人が幻覚を見たのか、 親が幻覚を見ていたかと言った ことか？)		
171	B07007902	11	年	女性	①異常行動 ②痙攣発作	2007/2/19	11:00	2007/2/19	14:00	×	No	—	—	—	発熱持続	No	No	No	No	—	—	2007/02/19 (午前)近医受診。インフルエンザ迅速検査：陰性であったが、インフルエンザ疑いで 本剤処方。 (11:00頃)本剤72mg×1/日投与開始。 (14:00頃)興奮状態となり、靴を片方持って突然ベランダに飛び出さすといった異常行動 発現。 (15:00)痙攣発作発現。弟が母に連絡。 (16:15)母が緊急送医要請し、当科外来受診。 来院時は意識清明、ダイアブプ坐薬10mg挿肛。 インフルエンザ迅速検査にてB型陽性。 頭部CTは異常なく、髄液検査など施行後、リリタ3挿肛、点滴にて経過観察とした。 2007/02/20 (午前)夜間、BT:40℃まで上昇あり、異常言動出現。 (9:00)意識レベル清明。 頭部MRI施行し、拡散強調画像で、脳梁部大脳に高信号域を認めた。 MRI所見は可逆性(一過性)の病変であった。 2007/02/21 (午前)解熱傾向あり。 2007/02/25 完全に解熱し、全身状態良好。 2007/02/26 異常行動、痙攣発作回復。
172	B07011102	11	年	男性	異常行動	2006/1/16 2006/1/17	(夕) (朝)	2006/1/17	午前	×	No	—	—	—	発熱持続	No	No	No	No	No	—	2006/1/16 39℃の熱が続いていた。キットでは陰性。総合的にインフルエンザと診断し タミフル処方。(夕)タミフル投与。 2007/1/17 (朝)タミフル投与。(午前)2階から1階へ突然走り出し、外へ飛び出ようとし たところを母に止められた。その時顔は赤らんでいて、何も覚えていないとの事。精神神 経系の副作用(異常行動)(非重篤)発現。
173	B07013215	11	年	女性	異常行動	2007/2/7 2007/2/8 2007/2/8 2007/2/9 2007/2/9	夕 朝 夕 朝 夕	2007/2/7	23:00	○	—	1時間	—	Yes	発熱持続	No	No	No	No	No	—	2007/2/7 (16:00)体温:37.8℃。(夕)インフルエンザB型治療のため、本剤72mg内服。発 症時に認められた自覚所見：発熱37.8℃(07/2/7、16:00)、頭痛、咳、鼻症状(鼻水、 鼻づまり、くしゃみ)、関節痛、倦怠感、(23:00)就寝。(23:00頃)せん妄発現(非重篤)、2階 にて就寝中、突然起き階段を「怖い怖い」と言いながら走って出てきた。15分～20分 振っていた。 2007/2/8 (7:00頃)せん妄軽快。(朝)本剤72mg内服。(夕)本剤72mg内服。 2007/2/9 (朝)本剤72mg内服。(夕)本剤72mg内服。
174	B07013227	11	年	男性	激越 浮動性めまい	2006/1/11 2006/1/11	—	—	—	○	—	—	—	Yes	発熱持続	No	No	—	—	No	—	2006/1/11 インフルエンザA型に対して、本剤75mg×2回/日処方。1回目内服後、す ぐに嘔吐。母親の判断にて約6時間後に2回目内服。その後就寝。興奮、ふらつき発現 (非重篤)、突然起き出し外へ飛び出したところを家人におさえられる。家人より目録が おかしかったとのこと。2-3分にて本人が気が付き状況確認すると、とても怖い夢を見た とのことだった。 2006/1/12 興奮、ふらつき回復。(9:00)家人より電話あり。症状は落ち着いており、特 にわかりにくいとのことであったため、本剤中止にて様子を見た。 2006/1/13 来院時特に変更なかったことなし。
175	B07013315	11	年	男性	異常行動	2007/2/24 2007/2/24 2007/2/25 2007/2/25 2007/2/26 2007/2/26 2007/2/27 2007/2/27 2007/2/28 2007/2/28	朝 夕 朝 夕 朝 夕 朝 夕 朝 夕	2007/2/24	本剤服用か ら1時間後	×	—	—	—	Yes	発熱持続	No	No	No	No	No	—	2007/2/24 インフルエンザA型治療のため、本剤投与開始(40mg×2/日)。発症時自他 覚所見：発熱39.9℃(07/2/23)、咳、鼻症状(鼻水、鼻づまり、くしゃみ)、消化器症状(嘔 吐、下痢)。本剤服用後、1時間後立ち上り走り出し外へ出て行こうとした。母親が 制止したが、響く声としていた。異常行動(非重篤)発現。 不明 異常行動回復。 2007/2/28 インフルエンザ軽快。
176	B07013316	11	年	男性	異常行動	2007/3/18 2007/3/19	夕 朝	2007/3/19	15:30	○	—	—	0.5時間	Yes	解熱過程	No	—	—	No	No	—	2007/3/18 (夕)インフルエンザA型に対して、本剤67.5mg内服。発症時自他覚所見： 発熱39.9℃(07/3/18 16:40)、倦怠感、咽頭痛。 2007/3/19 (朝)本剤67.5mg内服。(15:30)異常行動発現(非重篤)。昼寝の最中突然起 き上がり、玄関に向かって走り出した。意味不明な言動もみられた。母親が制止し、声 をかけたところ、表に返り部屋に戻るが、行動、言動については記憶がない。(16:00)異 常行動回復。 以後は症状みられず。 2007/3/22 インフルエンザ回復。
177	B07013379	11	年	男性	異常行動	2007/3/12	15:00	2007/3/12	17:00	○	—	—	20分	No	発熱持続	—	No	No	No	No	—	2007/3/12 (15:00頃)インフルエンザB型治療のため、本剤67.5mg×1/日の投与開始。 体温:38.5℃。(15:10頃)就寝。(17:00)一過性の怖れ(驚怖)、嫌世(強いうつ?)、興奮 状態発現(非重篤)。(17:30)就寝後、精神神経症状、けいれん等は無く、驚怖のため家 の外へ飛出そうとする。その後、この世はいやだ、死にたいと繰り返す。約20分続 (17:50)就寝。(20:30～20:35)再び就寝中に数分～5分、数分の恐怖の発現が在り。 (22:30頃)就寝中に再び数分の興奮有り。数分～5分で改善。 2007/03/13 一過性の怖れ(驚怖)、嫌世(強いうつ?)、興奮状態軽快。何事もな くめぐる。その後、特に異常なく元気だが、興奮中のことは覚えていない。インフル エンザの軽快。回復
178	B07013383	11	年	男性	異常行動	2007/3/20	夕	2007/3/20	服用から1時 間後	×	—	—	—	Yes	発熱持続	—	No	—	—	No	—	2007/3/20 (夕)受診後、夕方に痛ってすぐ本剤75mg内服。発症時自他覚所見：発熱 (39.4℃)、頭痛、関節痛、倦怠感。(1時間後)異常行動発現(非重篤)。急に家を飛び出 した。家の周囲を周し、帰って来て笑っていた。おそらく、この時、高熱と全身痛があ ったので、この行動は不可解である。おそらく、この時、高熱と全身痛があ ったので、この行動は不可解である。その後、異常行動は止み、薬を中止するよう指示 して再発なし。

異常な行動が記録されている事例の追加調査結果

※：継続投与後に異常行動を含む精神神経系症状を発現した事例
*：継続投与後に異常な行動を含む精神神経症候を発現しなかった事例

No	識別番号	年齢 数値	年齢 単位	性別	PT名称	タミフル 服用時刻		異常な行動発現時刻		就寝中か否 か (就寝中:○、 就寝中じゃない、×)	覚醒直 後に発現	就寝中の場 合、就寝時 刻から発現 までの時間	回復まで の時間	一眠りして 完全回復	体温	患者の記憶	睡眠覚醒症 等の既往	睡眠覚醒症 等の家族 歴	光に対する 反応	他剤による 「異常な行 動」の副作 用歴	異常な行動 に関する既往 歴	異常な行動の 具体的な詳細 (例:幻覚については具体的に何が見えたか?本人が幻覚を見たのか、 親が幻覚を見ていたかどうか?)
						2007/3/2 2007/3/2 2007/3/3 2007/3/3	2007/3/8	2007/3/3	13:10													
179	B07013387	11	年	女性	異常行動	2007/3/2 2007/3/2 2007/3/3 2007/3/3		2007/3/3	—	×	—	—	—	—	No	—	—	—	—	—	無	2007/3/2 インフルエンザB型に対して、本剤75mg×2回/日投与開始。発症時自宅覚 所見:発熱39.1°C(07/03/02)、頭痛、咳、鼻症状(鼻水)。 2007/3/3 異常行動発現(非重篤)。2回ほど車を飛び出そうとしたが、親が止めたため、 大事には至らなかった。本剤投与中止。 2007/3/4 異常行動軽快。インフルエンザ回復。
180	B07018037	11	年	男性	異常行動	2007/3/8	12:00	2007/03/08	13:10	○	Yes	—	30分	Yes	発熱持続中	No	No	No	No	No	No	2007/03/08 38.7°C (12:00)タミフル1カプセル服用。(13:10)突然飛び起き、目を見開 いて走り出す。(13:40)上記の症状はおさまる。異常行動を覚えていない。
181	B07018716	11	年	男性	異常行動	2007/11/20	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2007/11/20 本剤服用後2時間ほどで奇声を発し、3階から飛び降りようとしたとこの ことで、家族が当院を受診し、入院経過観察することとなった。 2007/11/21 異常行動は回復。	
182	B08001550	11	年	男性	異常行動	2008/3/11	PM	2008/3/11	21:00	×	No	入眠過程	—	No	発熱持続	Yes	No	No	Yes	—	—	2008/03/11 (PM)本剤服用120mg (21:00)トイレに入り、その後電気をまぶしがり、扉の閉開を繰り返し、足元から何か違 い上がってくるものを払いのけた後、リビングの方へ走って行き、何かに追われている 様に見えるながら逃げまわっていた。 その後、2〜3時間おきに2回同様な行動をとった。 「外に行く!」と言っていたので、制止した。 異常行動(非重篤)発現。その後、本剤服用中止。 不明 異常行動回復。
183	B08009394	11	年	男性	異常行動	2007/2/13 2007/2/14	1日2回	2007/2/14	1:00	○	No	—	15分	Yes	発熱持続	No	No	—	—	—	2007/02/14 (1:15)無意味な動き軽快。 (朝)無意味な動きの記憶なし。	
184	B02-12377	12	年	男性	①幻視 ②低体温	2003/1/3	①朝 ②夕	—	—	×	No	—	15分	Yes	解熱過程	No	No	No	—	No	無	①(家族からの情報)本剤服用後、幻視、低体温、暴れた為、両親を押さえた。 再度服薬したところ、再度幻視出現し、低体温、暴れるなどの症状が出現し、再び両親 に押さえられて治まった。 ②未記載
185	B03011945	12	年	男性	異常行動	2004/2/4 2004/2/5	夕 朝	2004/2/5	3:30	○	Yes	8.5	数十分〜1 時間	Yes	持続中、解 熱過程	—	—	—	—	—	無	2004/2/4 発熱あり(38〜39°C)。(16:00)学校早退、近医受診。インフルエンザ迅 速検査陰性だがインフルエンザが疑われたため、タミフル、ヘブリン顆粒処方(1回分 75mg)内服する。(19:00頃)その後すぐ就寝。 2004/2/5 (3:30)39°C。突然、母の体の上に乗り「宇宙が〜」と意味不明のことを言う。 異常行動(軽微)発現。その後、尿失禁。シャワーをあびると元にもどる。朝、本剤75mg 内服する。午後より解熱。この間、寝たり起きたり生活。(17:00)急に「うんちがこうす る」と言ったり、「(母の実家へ)行く」と言い、玄関とは全く違う方向へ歩いて行こうとす る。家人の呼びかけに対し、元にもどる。(18:00)当院初診される。当院初診時は意識 清明であり、特に変わった様子なし。当院来院以降は発熱認めず。念のため入院し、 内服薬すべて中止して様子みた。入院後、解熱、意味不明言動等、全くなくなり、ふつ ふとすこす。入院中の頭部CT、脳波も正常。 2004/2/6 異常行動回復。 2004/2/9 退院される。
186	B04009035	12	年	男性	異常行動	2002/2/25〜 3/2	朝・夕	2002/2/25	21:00	—	—	—	3時間	—	発熱持続	No	No	No	No	No	無	2002/02/25 朝、KT.38〜39°C認め、近医でインフルエンザB(+)(判明し、タミフル (150mg/日)、メイクト、etc処方あった。自宅で内服した。(21:00頃)突然「苦しい」と 顔つきが異常(いつもとちがう)になり、自宅2階の窓から飛びおりた。(24:00頃)救急 車で来院時、意識は清明であった。
187	B05023672	12	年	男性	異常行動	2006/1/19	20:00	2006/1/19	22:00	○	Yes	1	15分	Yes	発熱持続	No	—	—	—	—	無	トイレへ行こうとするが椅子がおかしく、その後突然外出し団地4Fより階段を降りて下 にある自転車で走り出す。奇声を上げていた。異常行動発現。15分後、帰ってきた が意識がぼーっとしており発語もはっきりせず、朝まで経過。その間の記憶が無い。
188	B05023790	12	年	男性	①異常行動 ②意識障害状態 ③機骨骨折 ④下肢骨折	2006/2/4	昼	2006/2/4	15:30	—	—	—	—	Yes	発熱持続	No	—	—	—	No	無	2006/2/4 (12:00)A院にてインフルエンザA型と診断し、タミフル処方。帰宅後服用(1回 分のみ)。(15:30)自宅マンションの2階より転落。意識障害、異常行動発現、発見され、 救急車にてB病院へ搬送。右腕・右下肢骨折。整形外科にて手術。同時に小児科にて 診察。入院。頭MRI所見なし。インフルエンザテスト(+)。 4-5日 発熱、寝がいが続く。また夜間おたががあった。 6日目 リハビリ開始。発熱は続いているが全体に回復傾向。経過観察にて症状消 失。 2006/02/10 インフルエンザ軽快。 2006/02/16 意識障害、異常行動回復。
189	B05024638	12	年	男性	異常行動	2006/2/1 2006/2/1 2/2〜2/3	13:00 22:00 朝・夕	2006/2/1	22:30	○	Yes	0.5時間	—	Yes	発熱持続	No	No	No	—	No	無	2006/2/1 (12:00)38.5°Cの発熱、咽頭痛あり来院。母親が同様の症状であるが、母の 鼻汁よりインフルエンザAが証明されたため検査は施行せず。タミフル75mg 2cap/日 ×3日処方。(13:00)タミフル75mg内服。(22:00)タミフル75mg内服。その後、38.5°Cの発 熱あり。(23:00)内服30分後、就寝中より突然起きだし父親に抱かっていたり、母妹に意味 不明な言語を発する等の異常行動がみられた(恐怖を感じる表情をしていたと母の 弁)。(24:00)再び入眠した。異常行動は回復。(異常行動は約30分間持続) 2006/2/2 (朝)起床後は普段と変わらず、前日の記憶は無し。 2006/2/3 (8:00)36.4°C(21:00)36.4°C。本剤投与終了。

異常な行動が記録されている事例の追加調査結果

※：継続投与後に異常行動を含む精神神経系症状を発現した事例
*：継続投与後に異常な行動を含む精神神経系症状を発現しなかった事例

No	識別番号	年齢 数値	年齢 単位	性別	PT名称	タミフル 服用時刻	異常な行動発現時刻	就寝中か否 か (就寝中：○、 就寝中じゃない、×)	覚醒直 後に発現	就寝中の場 合、就寝時 刻から発現 までの時間	回復まで の時間	一眠りして 完全回復	体温	患者の記 憶	睡眠覚 醒時の 既往	睡眠覚 醒時の 家族歴	光に 対する 反応	他剤による 「異常な行 動」の副 作用歴	異常な行 動に 関する 既往 歴	異常な行動 の 詳細 (例：幻覚については具体的に何が 見えたか？本人が幻覚を見たのか、 親が幻覚を見ていたかどうかと言 っているのか？)
190	B05025582	12	年	男性	異常行動	2006/2/26 朝・夕	2006/2/26 20:00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2006/2/26 (朝・夕)タミフルインフルエンザのため、タミフル(75mg)/回内服。(20:00頃)突然部屋の中をぐるぐるまわり始め、そのうちに2階の窓枠に足をかけ、飛び降りようとした。異常行動発現。父がすぐ寄り寄り、部屋の中に連れ込んで押えていたが、約40分間位父の腕の内側でわめいたり、暴れたりしていた。(21:00頃)そのうちに次第に落ちついて寝た。異常行動軽快。熱は39°C以上あった。 2006/2/27 翌朝は解熱し普段と変わりなく、急のため病院に再来した。本剤は2cap飲んだだけで中止した。外来受診時、意識ははっきりし特に異常はなかった。体温：36.7°C 2006/2/28 (第3病日)体温：37.5°C(以後平熱)。 2006/3/01 インフルエンザ軽快・回復。体温：36.7°C。 2006/3/3 再び来院。母の話だと、本人も暴れたことは何となく覚えている様だとの由。1年くらい前にも発熱した時に、うなされたことがあったとの由。しかし今回のようにひどくはなかった。
191	B06007798	12	年	男性	①死亡 ②損傷	2006/7/3 12:00	2006/7/3 17:50	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	(17:50頃)自宅のある高層住宅の駐車場で軌道に半ズボン姿で、裸足で倒れていた。心肺停止の状態で見つかり、救急車で搬送。腕や脚など複数箇所骨折が見られた。(病院で)心肺停止状態であり、1時間蘇生処置したが、全く反応なく死亡確認となる。転倒によると思われる外傷があった。 (18:05)死亡確認。
192	B06012472	12	年	女性	意識レベルの低下	2006/7/26 9:30	2006/7/26 10:00 2006/7/27 1:45	○ ○	No	30分	5分 1時間35分	No	発熱持続	Yes	-	-	-	-	No	(7/26 10:00)うとうと、急に起きる。既に目がキラキラしており、一点を見つめるようで、ぱっと目を見開いていた。のどが苦しくなり、窓の方へ駆け出し、ギューギュー叫んでいた。5分程でおさまったが、一応救急車で運ばれ点滴を打って対応。「苦しんで、息をしても空気が入ってこなくてかわかった」 入院。来院時、意識清明。受け答えもしっかりしていた。その時の様子を患者自身は覚えていないらしいが、ただ「牢牢に飛び出しそうになった」と語っている。 (7/27午前11:45)夜に目を覚まして怖いよ〜、手が上へ動く、怖いよ〜と叫ぶ。怖がって泣く。(午後2:00)カロナール内服。(午後3:00)まだ怖い、どこかに行きそうな感じがするとのこと。(午後3:20)落ち着く。
193	B06024212	12	年	男性	意識レベルの低下	2007/2/10 昼	2007/2/10 20:00	×	No	-	1~2時間	Yes	発熱持続	No	No	No	No	No	No	2007/2/10 インフルエンザA型と診断。(昼)インフルエンザA型に対して、タミフル75mg内服。(20:00)意識障害発現(非重篤)。名前、自分の年が言えず、意識レベル3。入院し、点滴(ST3 500mL)にてフォロー。 2007/2/11 (10:00)意識障害回復。意識清明、発熱(4)。 2007/2/12 (10:00)解熱。意識清明に飛び出しそうになったと語っている。 2007/2/14 (11:00)外来にて、かぜ症状のみ。神経学的に異状認めず。
194	B06024534	12	年	男性	①異常行動 ②転倒	2007/2/22 2007/2/23 朝・夕 朝	2007/2/23 16:00	-	-	-	3時間	Yes	解熱過程	No	No	No	No	No	No	2007/2/21 (夜)38.5°Cの発熱。 2007/2/22 (午前)インフルエンザA型と診断。A院にてタミフルなど処方。(朝、夕)タミフル75mgずつ内服。(夜)~23日朝にかけて、突然裸になりお風呂と言って踊るなどの行動有り。 2007/2/23 (8:00)タミフル75mg内服。(16:00)母親が目を見詰めた間に、2Fベランダから飛び降り、直後から走り回る。当院へ入院。発熱不明、記憶無、タミフルの副作用の可能性も考えられたが、急性脳症否定できず、ステロイド/バルス療法施行。ICU入院。処置内容：ソル・メドロール1g/日(〜2/25)、マンニトール注20%250mL×3/日、ミラクリッド注5万単位×3/日、ロセファクシムド2g×2/日(〜2/26)、ワコビタール坐剤200mg/日、カロナール300mg/日翌朝当院へ連絡があった。頭部MRI、CT、髄液検査、胸部・頭部・骨盤X線：異常なし前頭部の3Hz wave with notchesが3~5分程持続するのが顕著。 2007/2/24 処置内容：フェノバルバル60mg×2/日(〜2/26)。その後異常行動が認められたが徐々に消失。 2007/3/2 明らかに後遺症なく退院となる。インフルエンザ回復。
195	B06024909	12	年	男性	異常行動	2007/2/7 12:30、19:00	2007/2/8 2:00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2007/2/7 インフルエンザ発症(発熱37.8°C(朝)、咳、倦怠感)。(12:30)インフルエンザに対し本剤1カプセル服用。(19:00)タミフル1カプセル、マブール、ムコスタマリ服用。 2007/2/8 (2:00)異常行動発現。外に出て素足で50m程先の駐車場に向かって走り出す。父親が家に入れたが、そのまま2階に走っていき、通っていき窓を開けて飛び降りていった。親に行くと、土の上に着っており、応答はつきりせず。寝ぼけたような様子だった。自家用車にて救急外来受診し、当院へ搬送依頼あり。(3:50)当院救急外来到着。意識レベルJCS-2、ICU入院。外傷は右膝蓋骨骨折のみで頭蓋内出血などはなし。髄液検査：蛋白定量42mg/dL、糖定量66mg/dL、単核球2/3mm ³ 、分葉核球0/3mm ³ 。(10:00)インフルエンザ脳症の可能性も考慮し、ステロイド/バルス療法(ソル・メドロール1000mg/日開始(〜2/10))。(20:30)独語、突然笑い出す、泣き出すなどの症状認められた。 2007/2/9 (8:30)意識レベルJCS-1 2007/2/10 (9:30)意識清明と確認。 2007/2/11 インフルエンザ軽快。アスピリン20mg×3回/日(〜2/14)、ムコスタイン500mg×3回/日(〜2/14)投与開始。 2007/2/16 退院。外来フォローとなる。 2007/3/8 異常行動回復。(15:26)膝のけがのため松葉杖。行動、運動面で特に以前と変化なし。
196	B06025101	12	年	男性	異常行動	2007/2/8 12:00頃	2007/2/8 14:11頃	×	No	-	-	-	-	-	-	-	-	-	No	①幻覚を見て、裸足で外に飛び出した。その後自宅に戻り、「頭がこわれそう」落ち着きなくなり、家中のドアを開けた。自分で電話、最初は117番をかけてしまった。次に110番をかけて警察から連絡がまわり救急車で他院に搬送。点滴により落ち着いて帰宅。 ②寝になると怯えてしまう(目が覚めて眠れない等)就寝後1時間くらいで起き出して、錯乱状態になる。